



# System Management Module 2

## ユーザー・ガイド



マシン・タイプ: 7D1J/7D1L

## 注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。

[http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety\\_documentation/pdf\\_files.html](http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety_documentation/pdf_files.html)

さらに、ご使用のソリューションに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>

第 3 版 (2022 年 12 月)

© Copyright Lenovo 2021 年, 2022 年.

LENOVO および THINKSYSTEM は Lenovo の商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

# 目次

目次 . . . . .	i	分電盤/ミッドプレーン VPD . . . . .	27
第 1 章 . 概要 . . . . .	1	SMM2 VPD . . . . .	28
本書の適用範囲 . . . . .	1	PSU VPD . . . . .	29
第 2 章 . Web インターフェースのアク セス . . . . .	3	イベント・ログ . . . . .	29
第 3 章 . 概要 . . . . .	5	構成 . . . . .	30
要約 . . . . .	6	ファームウェア更新 . . . . .	31
エンクロージャーの前面の概要 . . . . .	6	SMTP/SNMP/PEF . . . . .	35
エンクロージャーの背面の概要 . . . . .	8	ネットワーク構成 . . . . .	37
電源 . . . . .	16	時刻設定 . . . . .	40
電源の概要 . . . . .	16	ユーザー・アカウント . . . . .	41
PSU 構成 . . . . .	18	アカウント・セキュリティー . . . . .	43
電源キャップ . . . . .	19	サービス . . . . .	44
電圧の概要 . . . . .	21	Web 証明書 . . . . .	44
電源復元ポリシー . . . . .	22	Network Time Protocol (NTP) . . . . .	46
冷却 . . . . .	23	バックアップおよびリストア構成 . . . . .	47
冷却の概要 (システム・ファン速度) — ThinkSystem DA240 エンクロージャーのみ . . . . .	23	第 4 章 . IPMI コマンド . . . . .	49
PSU ファン速度 . . . . .	24	IPMI コマンドの内容 . . . . .	50
音響モード — ThinkSystem DA240 エンクロ ージャーのみ . . . . .	24	SMTP 構成パラメーター . . . . .	75
システム情報 . . . . .	25	NTP 構成パラメーター . . . . .	78
エンクロージャー VPD . . . . .	26	IPMI コマンドのパラメーター . . . . .	79
		IPMI コマンドの内容のパラメーター . . . . .	79
		IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター . . . . .	80
		索引 . . . . .	83



---

## 第 1 章 概要

このセクションでは、System Management Module 2 (SMM2) ファームウェアの組み込み Web ページの機能について要約します。また、ネットワーク上でのデータ暗号化と証明書管理のために、トランスポート層セキュリティ 1.2 をサポートしています。

SMM2 は以下のタスクを実行します。

1. ノード・ステータスの報告
2. エンクロージャーの電源およびファン・ステータスの報告
3. エンクロージャーの電源およびファン構成管理
4. エンクロージャーの重要プロダクト・データ (VPD) 情報の報告
5. エンクロージャーのイベント・ログの表示、保存、およびクリア
6. SMM2 の構成と設定のバックアップ/復元

注：

SMM2 Web インターフェースは、次のブラウザをサポートします。

- Internet Explorer 11
- Microsoft Edge 25.10586 以降
- Mozilla Firefox 48.0 以降
- Google Chrome 52.0 以降
- Safari 9.0 以降

---

## 本書の適用範囲

このユーザー・ガイドでは、SMM2 の操作プロセスと詳細な WebGUI について説明します。説明には、ステータスを確認する方法、コンポーネントの情報、構成を変更する方法が含まれます。SMM2 Web ページの各機能タブについても詳細に説明し、定義します。

ユーザー・ガイドは、以下のエンクロージャーとトレイをサポートしています。

- ThinkSystem DA240 エンクロージャー・タイプ 7D1J (DA240 エンクロージャー)。以下のトレイと互換性があります。
  - ThinkSystem SD630 V2 計算ノード・タイプ 7D1K (SD630 V2 トレイ)
- ThinkSystem DW612 Neptune DWC エンクロージャー・タイプ 7D1L (DW612 エンクロージャー)。以下のトレイと互換性があります。
  - ThinkSystem SD650 V2 Neptune DWC トレイ・タイプ 7D1M (SD650 V2 トレイ)
  - ThinkSystem SD650-N V2 Neptune DWC トレイ・タイプ 7D1N (SD650-N V2 トレイ)
- ThinkSystem DW612S Neptune DWC エンクロージャー・タイプ 7D1L (DW612S エンクロージャー)。以下のトレイと互換性があります。
  - ThinkSystem SD650 V3 Neptune DWC トレイ・タイプ 7D7M (SD650 V3 トレイ)
  - ThinkSystem SD650-I V3 Neptune DWC トレイ・タイプ 7D7L (SD650-I V3 トレイ)
  - ThinkSystem SD665 V3 Neptune DWC トレイ・タイプ 7D9P (SD665 V3 トレイ)

注：

- 本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。  
[http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety\\_documentation/pdf\\_files.html](http://thinksystem.lenovofiles.com/help/topic/safety_documentation/pdf_files.html)
- ご使用のソリューションに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。  
<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>

---

## 第 2 章 Web インターフェースのアクセス

SMM2 Web インターフェースには、SMM2 を使用してセッションを確立することにより、イーサネット接続 (10/100/1000 Mbit) を通じてアクセスできます。

初めて SMM2 に接続する場合は、クライアント・コンピューターのインターネット・プロトコルのプロパティを変更する必要があることがあります。詳しくは、[37 ページの「ネットワーク構成」](#) セクションを参照してください。SMM2 Web インターフェースにログインするには、以下のステップを実行します。

1. ご使用のブラウザで、システム管理者が初期構成中に定義した SMM2 Web インターフェースの URL を指定します。

SMM2 に初めてアクセスするときは、以下の出荷時のデフォルト・ネットワーク設定が適用されます。

- a. SMM2 は、DHCP を使用して IP アドレスを取得しようとします。SMM2 で 2 分以内に DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない場合、静的 IP アドレスが使用されます。
- b. デフォルト静的 IP は 192.168.70.100 です (IPv4 が有効)。
- c. Hyper Text Transfer Protocol Secure (HTTPS) を使用。(たとえば、<https://192.168.70.100>)
- d. ローカル・リンク・アドレス (LLA) IP を使用して IPv6 が有効

注：LLA IP を計算するには、以下の手順を実行します。

- 1) SMM2 の MAC アドレス (39-A7-94-07-CB-D0) を 2 つに分割し、その間に FF-FE を挿入します。たとえば、39-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 2) 文字列の左端の 2 つの 16 進数字を 2 進数に変換します。たとえば、00111001-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 3) 最初のバイトのビット 1 の値を反転させます。たとえば、00111011-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 4) 文字列の左端の 2 進数を 16 進数に再び変換します。たとえば、3B-A7-94-FF-FE-07-CB-D0 となります。
- 5) 16 進数字のペアを結合して数字 4 つのグループにします。たとえば、3BA7-94FF-FE07-CBD0 となります。
- 6) 区切り文字をダッシュ (-) からコロン (:) に変更します。たとえば、3BA7:94FF:FE07:CBDO となります。
- 7) スtringの左側に FE80:: を追加します。たとえば、以下のとおりです。  
FE80::3BA7:94FF:FE07:CBDO

2. システム管理者によって割り当てられたユーザー ID およびパスワードを入力します。

- デフォルト ID: USERID
- パスワード: PASSWORD

注：PASSWORD の 6 番目の文字は数字のゼロです。

3. 「ログイン」をクリックします。



図1. SMM2 — ログイン

- 初回ログイン時にパスワードを変更します。

#### Change Password

**i** You are required to change your password. This is occurred when your account is used on the first login or when your password has expired.  
Fill in the form and click 'OK' to change password. Click 'Cancel' to logout without changing password.

Password Policy Check Enabled	Yes
User Name	USERID
Original Password	*****
New Password	*****
Confirm New Password	*****

図2. 初回ログイン時のパスワード変更

デフォルトのパスワードの複雑性の規則は次のとおりです。

- 長さが 10 文字以上であること
  - 少なくとも 1 つの数字 (0 ~ 9) を含んでいること
  - 次の 3 つのカテゴリのうち 2 つ以上を含んでいること
    - 大文字 (A ~ Z)
    - 小文字 (a ~ z)
    - 英字以外の文字 (!@#\$%^\*\_+=().:|?"/\ など)
- 新しいパスワードを使用してログインします。



---

## 第3章 概要

このセクションでは、SMM2 Web インターフェースの機能について詳しく説明します。

総合的な機能タブが6つあります。

- 要約
- 電源
- 冷却
- システム情報
- イベント・ログ
- 構成

機能タブのボタンの上にマウス・カーソルを置くと、機能のサブカテゴリが表示されます。ユーザーは、タブまたはサブカテゴリをクリックすると直接機能に移動できます。

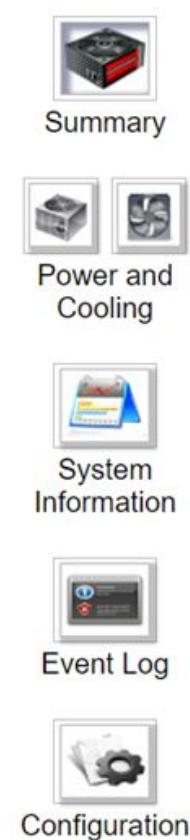


図3. 概要

注：

- 最新表示する場合は、SMM2 ウェブページの「**Refresh (最新表示)**」ボタンをクリックしてください。ユーザーがキーボードの F5 を押すか、ブラウザで「最新表示」をクリックすると、セキュリティの理由から Web ページはログイン・ページにリダイレクトされます。

- 「Refresh (最新表示)」 ボタンのあるページは、電圧の概要および冷却の概要を除いて定期的には最新表示されません。これらの2つのページの自動最新表示間隔は30秒です。他のページでは、「Refresh (最新表示)」 ボタンをクリックすると最新の読み取り値とステータスが表示されます。
- ユーザーが自動最新表示ページを表示したままの場合を除き、ユーザーが一定時間(デフォルト値は20分) Web ページで操作を実行しないとセッションが期限切れになります。



図4. 全般設定 — 最新表示

## 要約

要約ページには、エンクロージャー全体のステータスと情報が表示されます。

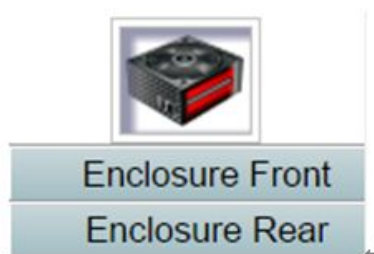


図5. エンクロージャー

## エンクロージャーの前面の概要

エンクロージャーの前面の概要と、ステータスに関連する情報。

「エンクロージャーの前面の概要」セクションにおける計算ノードのステータスを次の図に示します。

Enclosure Front Overview Refresh

Node	Height	Status	Reset / Reset	Node	Height	Status	Reset / Reset
03	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reset"/>	04	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reset"/>
		192.168.70.127	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.128	<input type="button" value="Launch XCC"/>
01	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reset"/>	02	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reset"/>
		192.168.70.125	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.126	<input type="button" value="Launch XCC"/>

Note:  
Please manually refresh 'Enclosure Front Overview' page 5 minutes after SMM2 or node XCC is reset to get updated node status.  
Please use the refresh button on the web, refresh via browser or F5 will cause logout.  
The 'Launch XCC' buttons still are able to launch XCC websites when the SMM2 session expires.

図6. エンクロージャーの前面の概要 — DA240 エンクロージャー

## Enclosure Front Overview



Node	Height	Status	Reset / Reseat	Node	Height	Status	Reset / Reseat
11	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>	12	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>
		192.168.70.135	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.136	<input type="button" value="Launch XCC"/>
09	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>	10	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>
		192.168.70.133	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.134	<input type="button" value="Launch XCC"/>
07	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>	08	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>
		192.168.70.131	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.132	<input type="button" value="Launch XCC"/>
05	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>	06	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>
		192.168.70.129	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.130	<input type="button" value="Launch XCC"/>
03	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>	04	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>
		192.168.70.127	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.128	<input type="button" value="Launch XCC"/>
01	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>	02	1 U	Power On	<input type="button" value="Reset"/> <input type="button" value="Reseat"/>
		192.168.70.125	<input type="button" value="Launch XCC"/>			192.168.70.126	<input type="button" value="Launch XCC"/>

**Note:**

Please manually refresh 'Enclosure Front Overview' page 5 minutes after SMM2 or node XCC is reset to get updated node status.  
Please use the refresh button on the web, refresh via browser or F5 will cause logout.  
The Launch XCC buttons still are able to launch XCC websites when the SMM2 session expires.

図7. エンクロージャーの前面の概要 — DW612 および DW612S エンクロージャー

**Enclosure Mode:**

This enclosure is running under **Shared I/O mode**, the nodes are categorized into 6 groups, each group has one primary node and one auxiliary node.  
The auxiliary node will not be granted power permission until the primary node is present, is in either standby mode or powered on, and has no power faults.

Group VI	Node 11: Auxiliary	Node 12: Primary
Group V	Node 9: Auxiliary	Node 10: Primary
Group IV	Node 7: Auxiliary	Node 8: Primary
Group III	Node 5: Auxiliary	Node 6: Primary
Group II	Node 3: Auxiliary	Node 4: Primary
Group I	Node 1: Auxiliary	Node 2: Primary

図8. 共有 I/O モード — DW612 エンクロージャーおよび SD650 V2 トレイ/DW612S エンクロージャーおよび SD650 V3 トレイ

- **Node (ノード):** ノード番号を示します。
- **高さ:** 1U。
- **Status (ステータス):**
  - **Not Present (存在しない):** ノードが取り付けられていません。
  - **No Permission (許可なし):** ノードに電源許可が認可されていないため、電源をオンにできません。
  - **Fault (障害):** ノードに電源障害があるため、電源をオンにできません。
  - **Power On (電源オン):** ノードの電源はオンです。
  - **Power Off (電源オフ):** ノードの電源はオフです。
  - **アドオン:** これはアドオン・トレイです。
- **リセット/再取り付け:** 仮想リセット/仮想再取り付けを実行する場合に使用します。
  - **リセット:** SMM2 を介してリモートでノード XClarity Controller (XCC) をリセットします。
  - **再取り付け:** ノード全体の電源サイクルをリモートで実行します。

注：

- 仮想リセット/再取り付けの後、ノード XClarity Controller の準備が完了するまでに 2 分以上かかります。
- ノードの電源をオンにすると、仮想再取り付けは適用できません。
- **XClarity Controller の起動:** 指定された IP アドレスを使用して Web から XClarity Controller にアクセスします。
  - 「**XClarity Controller の起動**」をクリックすると、SMM2 セッションの有効期限が切れた後もユーザーに XClarity Controller Web サイトが表示されます。

**注:**

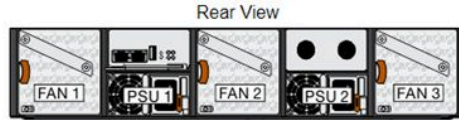
1. SMM2 またはノード XClarity Controller をリセットして最新のノードのステータスが維持されてから 5 分後に、「**エンクロージャーの前面の概要**」を手動で更新する必要があります。
2. **エンクロージャー・モード**の説明は、共有 I/O モードが有効になっているときのみ表示されます。以下のエンクロージャーおよびトレイのみ共有 I/O モードをサポートしています。
  - DW612 エンクロージャーおよび SD650 V2 トレイ
  - DW612S エンクロージャーおよび SD650 V3 トレイ
3. 共有 I/O モードの電源シーケンスに従うと、補助ノードが「電源オン」ステータスの間は、プライマリ・ノードの「**仮想再取り付け**」ボタンが無効になります。以下のエンクロージャーおよびトレイのみ共有 I/O モードをサポートしています。
  - DW612 エンクロージャーおよび SD650 V2 トレイ
  - DW612S エンクロージャーおよび SD650 V3 トレイ
4. モデルによっては、ノードが Lenovo XClarity Controller (XCC) または Lenovo XClarity Controller 2 (XCC2) をサポートしていることがあります。

## エンクロージャーの背面の概要

このビューには SMM2 情報が表示されます。

「**エンクロージャーの背面の概要**」では、主な背面エンクロージャーのステータスが次のセクションに表示されます。

- [10 ページの「管理モジュール」](#)
- [13 ページの「現在の PSU」](#)
- [13 ページの「ファン \(ThinkSystem DA240 エンクロージャーのみ\)」](#)
- [13 ページの「ドリップ・センサー \(ThinkSystem DW612 および DW612S Neptune DWC エンクロージャーのみ\)」](#)



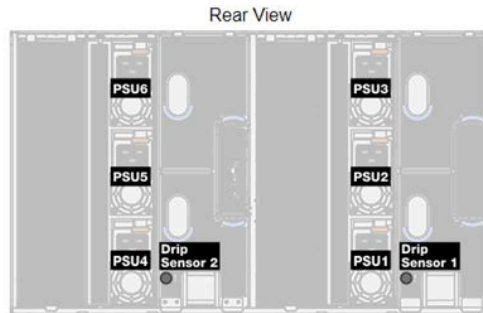
Current PSU - Redundancy Enabled, OVS Enabled, Total power bank = 2880W

PSU	Status	Ratings	AC-IN	Capability	Zero-Out	EPOW	Throttle	DC-PG
PSU1	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU2	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes

Fan

Bay	Status	Type	Bay	Status	Type
1	Present	80mm	2	Present	80mm
3	Present	80mm			

図9. エンクロージャー背面図 — DA240 エンクロージャー

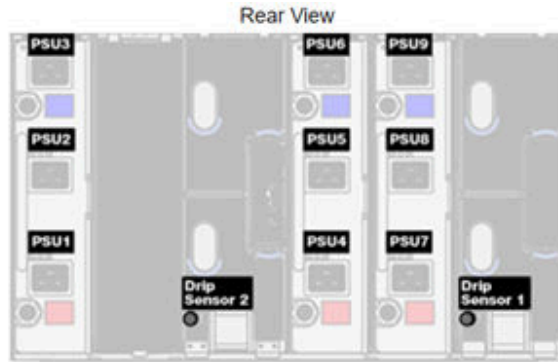


Current PSU - Redundancy Enabled, OVS Enabled, Total power bank = 14400W

PSU	Status	Ratings	AC-IN	Capability	Zero-Out	EPOW	Throttle	DC-PG
PSU1	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU2	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU3	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU4	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU5	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU6	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes

Drip Sensor	Status	Drip Sensor	Status
Drip Sensor 2	Present	Drip Sensor 1	Present

図10. エンクロージャー背面図 — DW612 エンクロージャー




Current PSU - Redundancy Enabled, Total power bank = 19200W

PSU	Status	Ratings	AC-IN	Capability	Zero-Out	EPOW	Throttle	DC-PG
PSU1	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU2	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU3	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU4	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU5	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU6	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU7	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU8	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes
PSU9	Present	2400 W	220 V	2400 W	Disabled	Normal	Normal	Yes

Drip Sensor	Status	Drip Sensor	Status
Drip Sensor 2	Present	Drip Sensor 1	Present

図 11. エンクロージャー背面図 — DW612S エンクロージャー

## 管理モジュール



### Management Module

Name	System Management Module 2 (SMM2)	
Power Status	<input checked="" type="checkbox"/> Normal	SMM2 Reset Reset to Default
Firmware Version	0.03 (UMSM02P)	
Boot-up Flash	First	
ID LED	Accept: Off	<input checked="" type="radio"/> Off => Accept <input type="radio"/> On <input type="radio"/> Blink Apply
Check Log LED	On	
FFDC	Capture	
Enclosure Reset	Reset	
Open Source Licenses	Download	

図 12. 管理モジュール — DA240 エンクロージャー





Management Module	
Name	System Management Module 2 (SMM2)
Power Status	<input checked="" type="checkbox"/> Normal <span>SMM2 Reset</span> <span>Reset to Default</span>
Firmware Version	0.03 (UMSM02P)
Boot-up Flash	First
ID LED	Accept: <input checked="" type="radio"/> Off => Accept Off <input type="radio"/> On <input type="radio"/> Blink <span>Apply</span>
Check Log LED	On
FFDC	<span>Capture</span>
Enclosure Reset	<span>Reset</span>
Open Source Licenses	<span>Download</span>

図 13. 管理モジュール — DW612 エンクロージャー



Management Module	
Name	System Management Module 2 (SMM2)
Power Status	<input checked="" type="checkbox"/> Normal <span>SMM2 Reset</span> <span>Reset to Default</span>
Firmware Version	1.03 (UMSM09E)
Boot-up Flash	First
ID LED	Accept: <input checked="" type="radio"/> Off => Accept Off <input type="radio"/> On <input type="radio"/> Blink <span>Apply</span>
Check Log LED	On
FFDC	<span>Capture</span>
Enclosure Reset	<span>Reset</span>
Open Source Licenses	<span>Download</span>

図 14. 管理モジュール — DW612S エンクロージャー

- 名前: System Management Module 2 (SMM2).
- 電源状況: SMM2 のステータスを示します。
  - SMM2リセット: このボタンをクリックすると、SMM2 がすぐにリセットされ、90 秒で動作準備が完了します。
  - デフォルトにリセット: 以下の SMM2 設定を出荷時のデフォルトに復元します。
    - SMTP
    - SNMP
    - PEF
    - ネットワーク構成
    - ユーザー・アカウント
    - アカウント・セキュリティー
    - サービス
    - Web 証明書
    - NTP

「デフォルトにリセット」プロセスが完了まで2分かかります。その後、SMM2 の動作準備が完了します。

- **ファームウェア・バージョン:** 現在のファームウェア・バージョン。
- **ブートアップ・フラッシュ:** SMM2 の現在のブートアップバンクを示します。正常な動作では、「**Boot-up flash (ブートアップ・フラッシュ)**」は常に「**First (最初)**」になります。最初のフラッシュにハードウェアまたはファームウェア障害がある場合のみ、SMM2 が 2 番目のフラッシュに切り替わります。
- **識別 LED (ID LED):** この青色 LED は、ラック内のエンクロージャーを視覚的に明確にします。次の3つのオプションが利用可能です。オプションを有効にするには、リストから選択し、「**Apply (適用)**」をクリックするか、対応するコマンドを使用します。

#### – Turn Off (オフにする)

このオプションを有効にすると、SMM2 ID LED によって最初にエンクロージャー内のすべての計算ノードの ID LED がオフになり、ノードの ID LED により LED の動作が決定する受け入れモードに入ります。

表 1. SMM2 ID LED 受け入れモードの動作

ノード識別 LED	SMM2 識別 LED
ノードのすべての ID LED が消灯します。	オフ
ノードの ID LED は点滅しませんが、1 つ以上のノードの ID LED が点灯します。	オン
1 つ以上のノードの ID LED が点滅します。	点滅

注：

1. SMM2 ID LED がデフォルトで受け入れモードに設定されます。
2. ノードの ID LED について詳しくは、ソリューションの「メンテナンス・マニュアル」/「セットアップ・ガイド」/「ユーザー・ガイド」の「前面 LED およびボタン/ノード・オペレーター・パネル」セクションを参照してください。

#### – Turn On (オンにする)

このオプションを有効にすると、点滅したままの 1 つを除いて、すべてのノード ID LED が点灯します。

#### – Blink (点滅)

このオプションを有効にすると、以前の状態に関係なく、すべてのノード ID LED が点滅します。

- **チェック・ログ LED:** エラー・イベントが発生すると、チェック・ログ LED が点灯します。エラー・イベントが解消されると、オフになります。
- **FFDC (FFDC):** Fast Failure Data Collection (FFDC) は、障害につながる可能性があるイベントや条件に関する情報をすぐに収集します。「**取り込み**」をクリックすると、問題の分析に使用するファイル Web からダウンロードできます。
- **エンクロージャーの再取り付け:** 「**再取り付け**」をクリックすると、エンクロージャーの電源がすぐにオフになり、10 秒後電源がオンになります。

注：このボタンをクリックすると、ノードの電源が引き続きオンでも「**エンクロージャーの再取り付け**」がすぐに有効になります。

- **オープン・ソース・ライセンス:** 「**ダウンロード**」をクリックすることにより、SMM2 のオープン・ソース・パッケージで使用されているオープン・ソース・ライセンス・ファイルをダウンロードできます。



## 現在の PSU

現在の PSU (パワー・サプライ・ユニット): 「エンクロージャー背面図」タブに示すように、パワー・サプライのステータスを示します。

- **Status (ステータス)**
  - **Present (存在する):** パワー・サプライが取り付けられています。
  - **Not Present (存在しない):** パワー・サプライが取り付けられていません。
  - **Fault (障害):** パワー・サプライが障害状態になっています。
- **定格:** ここには、1800 W、2400 W、2600 W、7200 W などの電力定格が表示されます。詳細については、ソリューションのシステム仕様を参照してください。
- **AC-IN:** AC 入力電力が表示されます。
- **Capability (能力):** パワー・サプライがシステム全体に供給できる最大 DC 出力電力が表示されます。
  - パワー・サプライの DC-PG が「いいえ」の場合、容量は 0W になります。
  - パワー・サプライの DC-PG が「はい」の場合、ワット数の異なるパワー・サプライがエンクロージャーに同時に取り付けられると、その容量は低出力パワー・サプライと同等になります。
- **ゼロ出力:**
  - **Disabled (無効):** ゼロ出力が無効です。
  - **Wake-Up (ウェイクアップ):** ゼロ出力が有効です。パワー・サプライが動作状態です。
  - **Sleep (スリープ):** ゼロ出力が有効です。パワー・サプライがハイバネーション状態で、DC 出力がありません。
- **EPOW (早期電源オフ警告)**
  - **アサート:** パワー・サプライが入力損失状態です。
  - **Normal (正常):** パワー・サプライ AC が動作しています。
- **Throttle (スロットル)**
  - **アサート:** パワー・サプライが過電流状態です。
  - **正常:** パワー・サプライが動作しています。
- **DC-PG (直流 - 電源良好):** パワー・サプライの DC 電源のステータス。
  - **No (いいえ):** パワー・サプライが必要な DC 電源を供給していません。
  - **Yes (はい):** パワー・サプライが必要な DC 電源を供給しています。

## ファン (ThinkSystem DA240 エンクロージャーのみ)

ファン: 「エンクロージャーの背面図」タブに表示されるように、システム・ファンのステータスを示します。このセクションは、DA240 エンクロージャーにのみ適用されます。

- **Status (ステータス)**
  - **存在する:** ファンが取り付け済みで、正常な動作状態です。
  - **存在しない:** ファンが取り付けられていません。
  - **障害:** ファンが障害状態になっています。
- **タイプ:** システムは 80mm ファンをサポートしています。

## ドリップ・センサー (ThinkSystem DW612 および DW612S Neptune DWC エンクロージャーのみ)

ドリップ・センサー: 「エンクロージャーの背面図」タブに表示されるように、センサー・センサーのステータスを示します。このセクションは、DW612 および DW612S エンクロージャーにのみ適用されます。

- Status (ステータス)

- 存在する: ドリップ・センサーが取り付け済みで、正常な動作状態です。
- 存在しない: ドリップ・センサーが取り付けられていません。
- 障害: ドリップ・センサーが障害状態になっています。

注:

- エンクロージャーの背面図グラフは、パワー・サプライ、システム・ファン、ドリップ・センサーの位置を示すためにのみ使用されます。
- DW612 エンクロージャーは、3つのエンクロージャー・タイプをサポートしています。詳しくは、DW612 エンクロージャー 資料の「システム仕様」を参照してください。

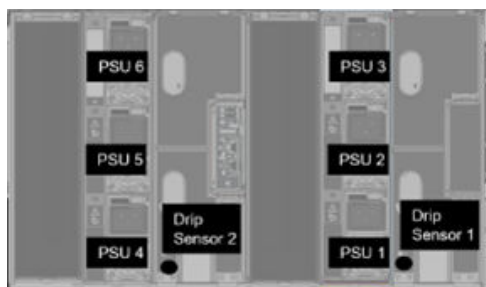


図 15. エンクロージャー・タイプ 1 — DW612 エンクロージャー

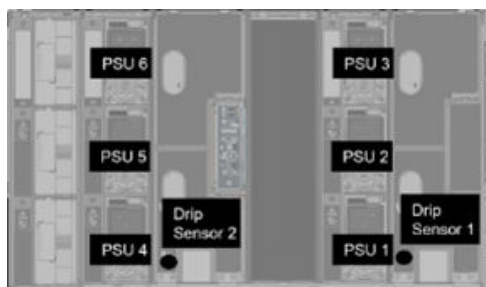


図 16. エンクロージャー・タイプ 2 — DW612 エンクロージャー

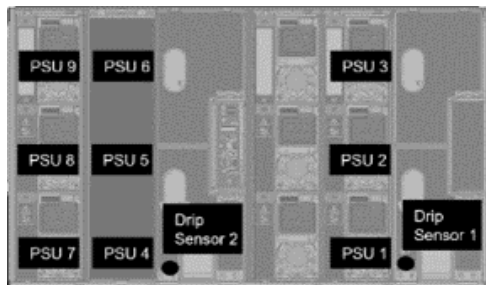


図 17. エンクロージャー・タイプ 3 — DW612 エンクロージャー

- DW612S エンクロージャーは、5つのエンクロージャー・タイプをサポートしています。詳しくは、DW612S エンクロージャー 資料の「システム仕様」を参照してください。

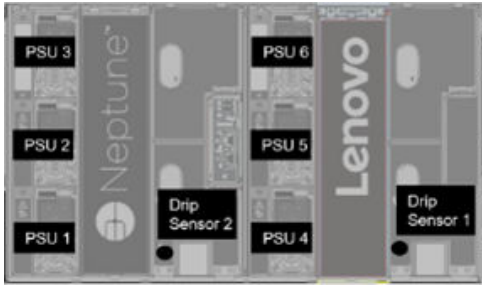


図 18. エンクロージャー・タイプ 1 – DW612S エンクロージャー

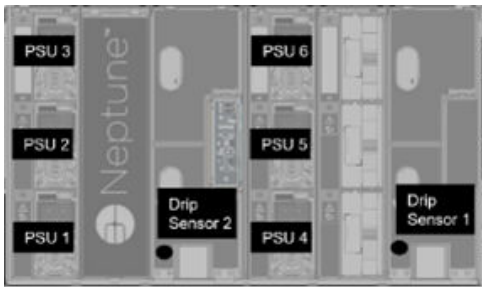


図 19. エンクロージャー・タイプ 2 – DW612S エンクロージャー

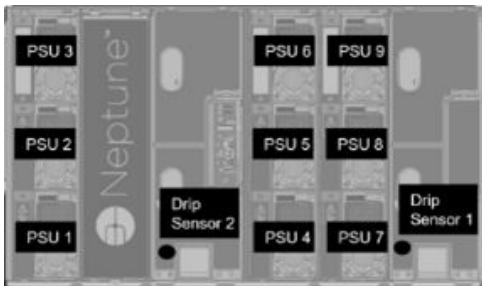


図 20. エンクロージャー・タイプ 3 – DW612S エンクロージャー

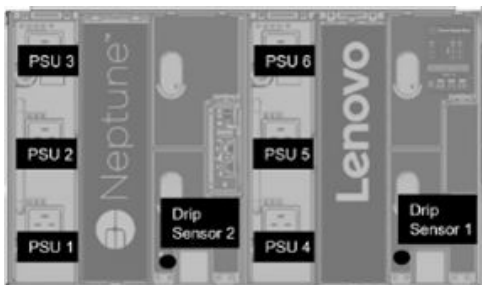


図 21. エンクロージャー・タイプ 5 – DW612S エンクロージャー

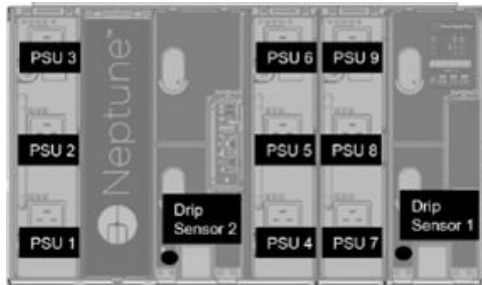


図22. エンクロージャー・タイプ6 — DW612S エンクロージャー

- 2600W PSU は、AC 高低回線では 2400W に下がります。7200W PSU は、AC 高低回線では 6900W に下がります。

## 電源

「電源」タブには、5つの主なセクションがあります。



図23. 「電源」タブ

- **電源の概要:** エンクロージャー・レベルの電力消費量、ノード・レベルの電力消費量、電源サブシステム (パワー・サプライ) や温度サブシステム (ファン/ドリップ・センサー) などのサブシステムの電力消費量が表示されます。
- **PSU 構成:** ユーザーがパワー・サプライの冗長性モードとゼロ出力を設定できます。
- **電源キャップ:** ユーザーが電源キャッピングと電力節約を設定できます。
- **電圧の概要:** SMM2 の電圧レールを監視します。
- **Power Restore Policy (電源復元ポリシー):** ユーザーが電源復元ポリシーを有効にできます。

## 電源の概要

このタブには、電力消費量、ノードの電力消費量、およびパワー・サプライ・サブシステムの電力消費量が表示されます。

## Power Overview

### Enclosure Power (30 seconds average)

Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)
1840	2260	2680

### Total PSU Power (30 seconds average)

Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)
40	60	80

### Node Power Consumption (W<sub>dc</sub>)

Node	Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)	Node	Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)
03	400	500	600	04	400	500	600
01	400	500	600	02	400	500	600

図 24. 電源の概要 — DA240 エンクロージャー

## Power Overview

### Enclosure Power (30 seconds average)

Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)
8000	12000	14000

### Total PSU Power (30 seconds average)

Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)
200	400	600

### Node Power Consumption (GPU / Node, W<sub>dc</sub>)

Node	Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)	Node	Min. (W)	Avg. (W)	Max. (W)
11	600	800	1000	12	600	800	1000
09	600	800	1000	10	600	800	1000
07	600	800	1000	08	600	800	1000
05	600	800	1000	06	600	800	1000
03	600	800	1000	04	600	800	1000
01	600	800	1000	02	600	800	1000

図 25. 電源の概要 — DW612 および DW612S エンクロージャー

注：

- SMM2 は、エンクロージャーおよびパワー・サプライの電力消費量を 1 秒おきに計算し、電力消費量の直近 30 件の読み取り値を記録します。これらの 30 件の読み取り値のうち、最大、最小、および平均電力使用量が WebGUI に表示されます。

- 計算ノードによってのみ電力消費量データが SMM2 に報告されます。これには、計算ノードの電力消費量と、トレイ内の対応する GPU ノード (該当する場合) の電力消費量が含まれます。

計算ノードと GPU ノードがトレイに取り付けられている場合、計算ノードは、それぞれ計算ノード自体および GPU ノードの電力消費量を報告します。上の図に示すように、最大、最小、および平均電力使用量がそれぞれ WebGUI に表示されます。

次のトレイにのみ GPU ノードが搭載されています。

- SD650-N V2
- SD650-I V3

WebGUI では、GPU ノードには奇数番号が振られて左側で緑色にマークされますが、計算ノードには偶数番号が振られて右側で青色にマークされます。

## PSU 構成

**PSU 構成:** ユーザーがパワー・サプライの冗長性モードとゼロ出力を設定できます。

**PSU Configuration**

**Redundancy Mode**

Redundancy Mode	N + 1
Oversubscription Mode	OVS On

Apply    PSU Status

**Zero Output**

Zero Output	Disable (default)
-------------	-------------------

Apply

図 26. PSU 構成

### 1. Redundancy Mode (冗長性モード)

- Redundancy Mode (冗長性モード)

- **No Redundancy (冗長性なし):** 1 つ以上のパワー・サプライが障害のある状態になると、システムをスロットルまたはシャットダウンすることができます。
- **N+1:** 冗長パワー・サプライとして 1 つのパワー・サプライが適切に取り付けられているため、オーバーサブスクリプション・モードが有効になっていなければ、いずれかのパワー・サプライが障害状態になった場合でもシステムの動作やパフォーマンスに影響はありません。

- オーバーサブスクリプション・モード

オーバーサブスクリプション・モードでは、ユーザーが冗長パワー・サプライから追加電源を利用できます。ただし、冗長性に障害が発生すると、システム電源の負荷が修正されない場合は、パワー・サプライが 1 秒以内にシャットダウンします。SMM2 は、このような電源上の緊急時にはノード・スロットルに対してアクションを行います。エンクロージャーのパフォーマンスに影響する可能性があります。

- オーバーサブスクリプション・モードは、N+1 の冗長性モードが有効になっている場合のみ適用されます。
- N+1 冗長性モードと同時に有効にした場合、使用可能な電力の合計は、N+1 冗長性モードの合計電力容量の 1.2 倍に相当します。

- 適用

ドロップダウン・メニューから冗長性およびオーバーサブスクリプション・モードを選択したら「適用」をクリックして選択内容をアクティブにします。

- PSU ステータス

「PSU ステータス」タブをクリックすると、「エンクロージャの背面の概要」ページにリダイレクトし、パワー・サプライのステータスが表示されます。以下のポリシーがサポートされています。

- DA240 エンクロージャ

- 2 台のパワー・サプライ:

- 冗長性なし
- オーバーサブスクリプション (OVS) を含む N+1 冗長性モード

- DW612 エンクロージャ

- 6 個のパワー・サプライ

- 冗長性なし
- オーバーサブスクリプション (OVS) を含む N+1 冗長性モード

- 9 個のパワー・サプライ

- オーバーサブスクリプション (OVS) を含まない N+1 冗長性モード

- DW612S エンクロージャ

- 6 個のパワー・サプライ

- 冗長性なし
- オーバーサブスクリプション (OVS) を含む N+1 冗長性モード

- 9 個のパワー・サプライ

- オーバーサブスクリプション (OVS) を含まない N+1 冗長性モード

## 2. ゼロ出力

- ゼロ出力

- ゼロ出力モードはデフォルトで無効になっています。冗長性モードが有効になっている場合のみ使用できます (N+1)。

- ゼロ出力モードを無効にすると、すべてのパワー・サプライが常にアクティブになります。

- 3 つのスキャン期間が用意されています (10/30/60 分)。スキャン期間が短くなるほど、システムの負荷が変化した場合にパワー・サプライの効率性を最適化するために SMM2 が休止状態のパワー・サプライの数を調整する速度が上がります。また、スキャン期間が短くなるほど、システム負荷が変更した場合にパワー・サプライがオンおよびオフになる頻度が上がるため、パワー・サプライの寿命が短くなります。

- 適用

ドロップダウン・メニューからスキャン期間を選択したら、「適用」をクリックして選択内容をアクティブにします。

## 電源キャップ

電源キャップ・ポリシー: 電源キャップ構成では、以下の 2 つのキャップ・タイプを選択できます。

- Enclosure Power Cap (エンクロージャ電力キャップ)
- Node Power Cap (ノード電源キャップ)

# Power Cap Policy

Choose a power cap type :

## Enclosure Power Cap / Power Save

Enclosure	Power Cap
All	<input type="checkbox"/> Enable <input type="text" value=""/> W (Range: 7200 W ~ 14400 W)
	Power Save
	<input checked="" type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable

図27. エンクロージャー電源キャップ・ポリシー

# Power Cap Policy

Choose a power cap type :

## Node Power Cap / Power Save

Node	Power Cap		
1	Protective Power Cap	1200 W	
	User Power Cap	DISABLE	
		User Define	<input type="checkbox"/> Enable <input type="text" value=""/> W (Range: 600 W ~ 1000 W)
		Thermal	DISABLE
	Power Save		
<input checked="" type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable			

図28. ノード電源キャップ・ポリシー

1. **電源キャップ**: ユーザーが電力消費量のワット制限を設定できます。個々のノードに適用すると、ノードの電力消費量の上限が割り当てられたレベルに設定され、エンクロージャーに適用すると、エンクロージャー全体の電力消費量の上限が設定されます。電力節約が有効な場合、個々のノードまたはすべてのノード(エンクロージャー・レベル)が最小パフォーマンス・モードで動作します。
  - ドロップダウン・メニューから「Enclosure Power Cap (エンクロージャー電源キャップ)」または「Node Power Cap (ノード電源キャップ)」を選択します。
  - 電源キャップ値を入力してボックスにチェック・マークを付け、「Apply (適用)」をクリックして電源キャップを有効にします。



- 電源キャップの有効(オン)または無効(オフ)は、電源キャップ値とは無関係に適用されません。ただし、入力値なしで電源キャップが有効になっている場合、ユーザー電源キャップ値が指定されておらず、電源キャップが適用されないことを表すため、テキスト・ボックスが空になります。値が入力されていても、有効にチェック・マークが付けられずに適用されている場合、値は保存されますが適用されません。
- 電源キャップ値は、ノード/エンクロージャーの最小インベントリー電力から最大インベントリー電力の範囲内に限定されます。
- ノード・ドメインには、3タイプの電源キャップがあります。ノードごとに「ユーザーの電源キャッピング」値を設定できます。
- 「省電力」セクションで「有効」を選択し、「適用」をクリックして省電力をアクティブにします。

2. 省電力: 電源キャップと同時に適用することができます。

- 「Power Save (省電力)」セクションで「Enable (有効)」を選択し、「Apply (適用)」をクリックして省電力をアクティブにします。
- 次の表は、省電力モードの詳細を示しています。

表 2. 省電力モード

モード	タイトル	説明
Disable (無効にする)	静的 (最大パフォーマンス)	システムは、ワークロードに関係なくフルスピードで稼働します。
有効にする	静的 (最小電力)	システムは、ワークロードに関係なく最小パフォーマンス・モードで実行されます。

注: 以下のトレイは、ユーザー・キャッピングと温度キャッピングをサポートしていないため、「サポートされていません」とマークされます。

- SD665 V3

## 電圧の概要

「電圧の概要」テーブルには、SMM2 ボードのステータス (12V、5V、3.3V、2.5V、1.2V、1.15V) とバッテリーの電圧が表示されます。クリティカルしきい値に到達した場合、エラー・ログが有効になります。

注: 自動更新間隔は 30 秒です。

### Voltage Overview

Refresh

General Settings

Auto Refresh Interval: Every 30 Seconds

Probe List

Status	Probe Name	Reading	Lower Non-Critical	Upper Non-Critical	Lower Critical	Upper Critical	Lower Non-Recoverable	Upper Non-Recoverable
●	SMM2 Brd 1.15V	1.1410 V	1.0360 V	1.2390 V	0.9170 V	1.2740 V	N/A	N/A
●	SMM2 Brd 1.2V	1.1900 V	1.0850 V	1.2950 V	0.9590V	1.3230 V	N/A	N/A
●	SMM2 Brd 2.5V	2.4957 V	2.2419 V	2.6931 V	1.9881 V	2.7495 V	N/A	N/A
●	SMM2 Brd 3.3V	3.2886 V	2.9754 V	3.5670 V	2.6448 V	3.6366 V	N/A	N/A
●	SMM2 Brd 5V	5.0162 V	4.5028 V	5.4088 V	4.0196 V	5.4994 V	N/A	N/A
●	SMM2 Brd 12V	11.884 V	11.686 V	12.676 V	10.564 V	13.204 V	N/A	N/A
●	SMM2 Brd VBAT	3.0104 V	N/A	N/A	2.2472 V	N/A	N/A	N/A

図 29. 電圧の概要

## 電源復元ポリシー

「電源復元ポリシー」が「復元」で有効な場合、SMM2 には最新の計算ノード電源状況が記憶され、AC が突然失われる前の電源状況に復元します。

### Power Restore Policy

<input checked="" type="checkbox"/>	Node	Status	<input checked="" type="checkbox"/>	Node	Status
<input checked="" type="checkbox"/>	03	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	04	Restore
<input checked="" type="checkbox"/>	01	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	02	Restore

Apply

Power Restore Policy: Determines the mode of operation after loss of power  
Always off: Node remains off upon power restore  
Restore: Node restores to the state it was before power failed

図 30. 電源復元ポリシー — DA240 エンクロージャー

### Power Restore Policy

<input checked="" type="checkbox"/>	Node	Status	<input checked="" type="checkbox"/>	Node	Status
<input checked="" type="checkbox"/>	11	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	12	Restore
<input checked="" type="checkbox"/>	09	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	10	Restore
<input checked="" type="checkbox"/>	07	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	08	Restore
<input checked="" type="checkbox"/>	05	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	06	Restore
<input checked="" type="checkbox"/>	03	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	04	Restore
<input checked="" type="checkbox"/>	01	Restore	<input checked="" type="checkbox"/>	02	Restore

Apply

Power Restore Policy: Determines the mode of operation after loss of power  
Always off: Node remains off upon power restore  
Restore: Node restores to the state it was before power failed

図 31. 電源復元ポリシー — DW612 および DW612S エンクロージャー

Power Restore Policy (電源復元ポリシー): 電源損失後の動作モードを決定します。

- 常にオフ: 電源が復元した後もノードはオフのままです。
  - 復元: ノードは電源障害が発生する前と同じ状態に復元されます。
1. 電源復元ポリシーを有効にするのに必要なノードのボックスにチェック・マークを付けます。
  2. 「Apply (適用)」をクリックして、設定をアクティブにします。

注: SMM2 は、構成設定を 60 秒ごとにバックアップします。構成設定に対する変更はすべて、この 60 秒の期間内に完了してください。そうしないと、保存されないか有効になります。

## 冷却

「冷却」には、システム・ファンとパワー・サプライ・ファンの冷却ステータスだけでなく、音響モード設定も表示されます。

DA240 エンクロージャーの場合、このタブではシステム・ファン速度、パワー・サプライ・ファン速度、音響モードを監視できます。

ただし、DW612 および DW612S エンクロージャーでは直接水冷ソリューションがサポートされており、システム・ファンが装備されていないため、パワー・サプライ・ファンのステータスのみ表示されます。

「冷却」タブには、3つの主なセクションがあります。

- PSU ファン速度 (DA240 に適用されます)、DW612 および DW612S エンクロージャー
  - パワー・サプライ・ファン速度が表示されます。
- 冷却の概要 (DA240 エンクロージャーにのみ適用されます):
  - システム・ファン速度が表示されます。
- 音響モード (DA240 エンクロージャーにのみ適用されます):
  - ユーザーが音響モードを選択できます。

### 冷却の概要 (システム・ファン速度) — ThinkSystem DA240 エンクロージャーのみ

システム・ファン速度は、「冷却の概要」で監視します。このセクションは、DA240 エンクロージャーにのみ適用されます。DW612 および DW612S エンクロージャーは、直接水冷システムのため適用されません。

システム・ファン速度が RPM で表示されます。ファン速度が下限クリティカルしきい値を下回ると、エラー・ログが表明されます。

注：このページは、30 秒ごと自動的に最新表示されます。

**Cooling Overview** Refresh



**General Settings**

Auto Refresh Interval	Every 30 Seconds
-----------------------	------------------

**Probe List**

Status	Probe Name	Reading	Lower Non-Critical	Upper Non-Critical	Lower Critical	Upper Critical	Lower Non-Recoverable	Upper Non-Recoverable
●	Fan 1 Tach A	2500 RPM	1536 RPM	N/A	1280 RPM	N/A	N/A	N/A
●	FAN 1 Tach B	2500 RPM	1536 RPM	N/A	1280 RPM	N/A	N/A	N/A
●	Fan 2 Tach A	2500 RPM	1536 RPM	N/A	1280 RPM	N/A	N/A	N/A
●	FAN 2 Tach B	2500 RPM	1536 RPM	N/A	1280 RPM	N/A	N/A	N/A
●	Fan 3 Tach A	2500 RPM	1536 RPM	N/A	1280 RPM	N/A	N/A	N/A
●	FAN 3 Tach B	2500 RPM	1536 RPM	N/A	1280 RPM	N/A	N/A	N/A

図 32. 冷却の概要

- Status (ステータス) (2つのステータス):
  - 正常な状態: 
  - 障害状態: 
- ファン番号速度計 A(B):

- DA240 エンクロージャー システムには、デュアル・モーター・ファンが装備されています。速度計 A にはプライマリー・ファン・モーターの速度が表示されますが、速度計 B には冗長ファン・モーターの速度が表示されます。
- システム・ファン速度は通常、速度計 A と速度計 B では 1,500 RPM を超える速度で動作します。
- 下限クリティカル: 768 RPM が下限クリティカル・ファン速度のしきい値となるように設定されます。

## PSU ファン速度

このセクションには、PSU (パワー・サプライ・ユニット) ファン速度が表示されます。以下のソリューションに適用されます。

- DA240 エンクロージャー
- DW612 および DW612S エンクロージャー

PSU	Fan 1 Speed (RPM)	Fan 1 Duty (% of Max.)	Fan 2 Speed (RPM)	Fan 2 Duty (% of Max.)	Status
PSU1	3840	15%	3840	15%	Normal
PSU2	3840	15%	3840	15%	Normal

図 33. PSU ファン速度 — DA240 エンクロージャー

PSU	Fan 1 Speed (RPM)	Fan 1 Duty (% of Max.)	Fan 2 Speed (RPM)	Fan 2 Duty (% of Max.)	Status
PSU1	2672	10%	2672	10%	Normal
PSU2	2672	10%	2672	10%	Normal
PSU3	2672	10%	2672	10%	Normal
PSU4	2672	10%	2672	10%	Normal
PSU5	2672	10%	2672	10%	Normal
PSU6	2672	10%	2672	10%	Normal

図 34. PSU ファン速度 — DW612 および DW612S エンクロージャー

- 速度: パワー・サプライ・ファン速度は RPM で表示され、通常は 4,000 ~ 23,000 RPM で動作します。
- 負荷 (最大値に対する %): 25,300 RPM に対する割合。 (23000 \* 110%)
- Status (ステータス):
  - 正常: PSU ファンが正常な状態で動作しています。
  - Not Present (存在しない): パワー・サプライが取り付けられていません。
  - 障害: ファン速度がしきい値 (3,000 RPM) を下回っています。

## 音響モード — ThinkSystem DA240 エンクロージャーのみ

ユーザーは、このセクションで音響モードを選択できます。「音響モード」タブは、DA240 エンクロージャー にのみ該当します。

以下の 5 つの異なる音響モードにエンクロージャーを構成することで、ユーザーはランタイムのエンクロージャーのノイズ・レベルを削減することができます。

# Acoustic Mode Selection



図 35. 音響モードの選択

1. 好みに応じてドロップダウン・メニューからモードを選択します。
  - None (なし): 最適な冷却の必要に応じてファン速度が変化。
  - Mode 1 (モード 1): 最大騒音低減 (最低冷却)。
  - Mode 2 (モード 2): 高い騒音低減。
  - Mode 3 (モード 3): 中程度の騒音低減。
  - Mode 4 (モード 4): 低い騒音低減 (高位冷却)。
  - Mode 5 (モード 5): 積極的な冷却モード。
2. ドロップダウン・メニューから音響モードを選択したら「Apply (適用)」をクリックし、設定をアクティブ化します。

注：

- 音響モードは、エンクロージャー全体にのみ適用できます。
- 音響モードが適用されると、過熱を防止するために計算ノードのワークロードにも上限が設定されます。
- 電力または温度に対する要求の高い PCI アダプターが計算ノードに取り付けられている場合、モード 5 (積極的な冷却モード) に設定されていない場合は、音響モードが自動的に無効になります。

---

## システム情報

「システム情報」タブには以下のセクションがあり、固定 VPD (重要プロダクト・データ) データが表示されます。

- エンクロージャー VPD
- PDB (分電盤) VPD (DA240 エンクロージャーのみ)
- ミッドプレーン VPD (DW612 および DW612S エンクロージャーのみ)
- SMM2 VPD
- PSU (パワー・サプライ・ユニット) VPD

注：IPMI 標準 FRU コマンドで表示される情報は、SMM2 ボード VPD のみに限定されます。

## エンクロージャー VPD

### Enclosure VPD

Name	Value
Enclosure Name	Lenovo ThinkSystem DA240 Enclosure
Enclosure Machine Type/Model	7D1JCTO1WW
Enclosure Serial Number	719001H123
Enclosure UUID	1234567890ABCDEF1234567890ABCDEF
Enclosure Hardware Version	Pass 5

Backup Restore

Edit

Note:

The storage device can be a USB device

図 36. エンクロージャー VPD — DA240 エンクロージャー

### Enclosure VPD

Name	Value
Enclosure Name	Lenovo ThinkSystem DW612 Neptune DWC Enclosure
Enclosure Machine Type/Model	7D1LCTO1WW
Enclosure Serial Number	719001K123
Enclosure UUID	1234567890ABCDEF1234567890ABCDEF
Enclosure Hardware Version	Pass 5

Backup Restore

Edit

Note:

The storage device can be a USB device

図 37. エンクロージャー VPD — DW612 エンクロージャー

### Enclosure VPD

Name	Value
Enclosure Name	Lenovo ThinkSystem DW612S Neptune DWC Enclosure
Enclosure Machine Type/Model	7D1LCTO2WW
Enclosure Serial Number	J302R8PTA
Enclosure UUID	0102030405060708090A0B0C0D0E0F10
Enclosure Hardware Version	Pass 2

Backup Restore

Edit

Note:

The storage device can be a USB device

図 38. エンクロージャー VPD — DW612S エンクロージャー

注：ストレージ・デバイスは USB デバイスの場合があります。

- **バックアップ:** 後で移行できるように、現在のエンクロージャー名を USB ストレージ・デバイスに保存します。
- **復元:** USB ストレージ・デバイスに以前保存したデータからエンクロージャー名をロードします。
- **編集:** 以下のルールに基づいてエンクロージャー名を変更します。
  - エンクロージャー名は、英数字 a-z、A-Z、0-9 と - (ハイフン)、\_ (下線)、スペースを使用した最大 64 文字の名前です。
  - エンクロージャーのシリアル番号は、英数字 a-z、0-9 を使用した最大 10 文字の番号です。
- **エンクロージャー名:** 「Lenovo ThinkSystem DA240 エンクロージャー」 / 「Lenovo ThinkSystem DW612 Neptune DWC エンクロージャー」 / 「Lenovo ThinkSystem DW612S Neptune DWC エンクロージャー」
- **エンクロージャーのマシン・タイプ/モデル:** ThinkSystem DA240 エンクロージャー の場合は「7D1JCTO1WW」 / ThinkSystem DW612 Neptune DWC エンクロージャー の場合は「7D1LCTO1WW」 / ThinkSystem DW612S Neptune DWC エンクロージャー の場合は「7D1LCTO2WW」
- **エンクロージャーのシリアル番号:** 例: ThinkSystem DA240 エンクロージャー の場合は「719001H123」 / ThinkSystem DW612 Neptune DWC エンクロージャー の場合は「719001K123」 / ThinkSystem DW612S Neptune DWC エンクロージャー の場合は「J302R8PTA」
- **エンクロージャー UUID:** エンクロージャーのランダムに生成された ID 番号。
- **Enclosure Hardware Version (エンクロージャー・ハードウェアのバージョン):** ハードウェアのバージョン。

## 分電盤/ミッドプレーン VPD

- DA240 エンクロージャー の場合、「[分電盤 VPD](#)」を参照してください。
- DW612 および DW612S エンクロージャー の場合、「[ミッドプレーン VPD](#)」を参照してください。

Upper PDB VPD

Name	Value
Card UUID	8858078C5B584DF9A9E0BF40E01F97C5
Card Hardware Version	Pass 5

Backup Restore

Edit

Lower PDB VPD

Name	Value
Card UUID	8858078C5B584DF9A9E0BF40E01F97C5
Card Hardware Version	Pass 5

Edit

Note:  
The storage device can be a USB device

図 39. PDB VPD — DA240 エンクロージャー

注：WebGUI では、「上段配電盤」という用語は「上段 PDB」、「下段配電盤」は「下段 PDB」として表示されます。



## Midplane VPD

Name	Value
Card UUID	4D4944504C414E455555494454455354

Backup Restore

Edit

Note:

The storage device can be a USB device

図 40. ミッドプレーン VPD — DW612 および DW612S エンクロージャー

注：ストレージ・デバイスは USB デバイスの場合があります。

- **バックアップ:** 後で移行できるように、現在のカード・シリアル番号、カード UUID、ハードウェア・バージョン、FRU 品番を USB ストレージ・デバイスに保存します。
- **復元:** 以前に保存したカード・シリアル番号、カード UUID、ハードウェア・バージョン、FRU 品番データを USB ストレージ・デバイスからロードします。
- **編集:** 以下のルールに基づいてカードの UUID をユーザー設定として変更します。
  - **UUID:** カード UUID には、32 文字の英数字 (A ~ Z, 0 ~ 9) をすべて入力する必要があります。スペースや他の文字を使用することはできません。
- **カード UUID:** エンクロージャーのランダムに生成された ID 番号。
- **Card Hardware Version (カード・ハードウェアのバージョン):** ハードウェアのバージョン。

## SMM2 VPD

### SMM2 VPD

Name	Value
Card Serial Number	XXXX9CW300N
Card UUID	8858078C5B584DF9A9E0BF40E01F97C5
Card Hardware Version	Pass 5
Card FRU Serial Number	02JK469

図 41. SMM2 VPD

- **カード・シリアル番号:** SMM2 にある 8S バーコードの末尾 11 桁。たとえば、「8SXXXXXXXXXXAAAABBBCCCC」などです。
- **カード UUID:** SMM2 のランダムに生成された ID 番号。
- **Card Hardware Version (カード・ハードウェアのバージョン):** ハードウェアのバージョン。
- **カード FRU シリアル番号:** SMM2 にある 8S バーコードの「8S」に続く最初の 10 桁。たとえば、「8SXXXXXXXXXXAAAABBBCCCC」などです。



## PSU VPD

### PSU1 VPD

Name	Value
MFR Revision	04
Type	CFF v4 2400W PT
Part Number	SP57A14715
FRU Number	01PF081
Serial Number	D1DG03P003B
Header Code	D1DG
Vendor Name	DETA
MFR Date	13(week) / 20(year)
Primary FW Revision	7.13
Secondary FW Revision	7.14
MFR Model	IPS2400DB A
MFR Location	DG
Barcode	8SSP57A14715D1DG03P003B

図 42. PSU VPD

- MFR リビジョン: アセンブリーのリビジョン
- タイプ: CFF パワー・サプライ v4 PSU タイプ
- 品番: Lenovo 品番
- FRU 番号: Lenovo FRU 番号
- シリアル番号: PSU にある 8S バーコードの末尾 11 桁。たとえば、「8SXXXXXXXXXXAAAABBBCCCC」などです。
- ヘッダー・コード: Lenovo ヘッダー・コード
- ベンダー名: ベンダー名
- MFR 日: 製造日コード (週/年)
- プライマリー FW リビジョン: プライマリー・ファームウェア・リビジョン
- セカンダリー FW リビジョン: セカンダリー・ファームウェア・リビジョン
- MFR モデル: ベンダー品番
- MFR の場所: 製造元の所在地
- PSU FRU 番号: 例: 「01GV270」
- バーコード: Lenovo バーコード

---

## イベント・ログ

「イベント・ログ」タブでは、ユーザーが SEL (システム・イベント・ログ) を表示できます。

SEL (システム・イベント・ログ) は、エンクロージャー・レベルの情報、警告、エラーを記録し、エンクロージャーで起きていることをユーザーが把握できるようにします。最大 4090 個のイベント・エントリーを記録することができます。

デフォルトでは、イベントが発生した順と逆に並べ替えられるため、最新のエントリーは最初のページにあります。「日付/時刻」をクリックすると、イベントが発生した順で並べ替えることができます。

注：現在のところ、ログがいっぱいになると新しいイベントを書き込むことができません。ログを手動で消去し、最新のイベントを記録できます。

### Event Log




**Event Log**  
To sort system event logs, click the 'Date/Time'.

12 / 4090

Event ID	Severity	Date/Time ↓	Description
0x21080113	✔	2020-11-13 15:45:05 (UTC+0000)	Node 4: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x21080112	✔	2020-11-13 15:45:05 (UTC+0000)	Node 3: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x21080111	✔	2020-11-13 15:45:05 (UTC+0000)	Node 2: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x21080110	✔	2020-11-13 15:45:05 (UTC+0000)	Node 1: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x180708fd	✔	2020-11-13 15:45:04 (UTC+0000)	SMM2 Reset: Chassis sensor, Informational was asserted
0x180708f2	✔	2020-11-13 15:44:24 (UTC+0000)	Encl V/Il Reset: Chassis sensor, Informational was asserted
0x21080113	✔	2020-11-13 15:43:22 (UTC+0000)	Node 4: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x21080112	✔	2020-11-13 15:43:22 (UTC+0000)	Node 3: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x21080111	✔	2020-11-13 15:43:22 (UTC+0000)	Node 2: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x21080110	✔	2020-11-13 15:43:22 (UTC+0000)	Node 1: Slot Or Connector sensor, Device Inserted / Device Present was asserted
0x180708fc	✔	2020-11-13 15:43:22 (UTC+0000)	SMM2 Power On: Chassis sensor, Informational was asserted
0x106f0201	✔	2020-11-13 15:43:21 (UTC+0000)	EvtLogDisabled: Event Logging Disabled sensor, Log Area Reset/Cleared was asserted

図 43. イベント・ログ

- **Refresh (更新):** SEL は決して自動的に更新されません。「更新」をクリックすると、最新のエントリーが取得されます。
- **ログを保存:** SEL データが .csv ファイルとしてエクスポートおよび保存されます。
- **Clear Log (ログを消去):** SEL データをクリアします。
- **重大度:** SEL データ エントリーは、イベントの重大度順に表示されます。

-  : 「情報」タイプのイベントを示します。
-  : 「警告」タイプのイベントを示します。
-  : 「エラー」タイプのイベントを示します。エラー・イベントが発生すると、チェック・ログ LED が点灯します。

注：考えられるイベントのリストについては、対応するソリューションの「メッセージとコードのリファレンス」の「SMM2 イベント・コードのリスト」を参照してください。

## 構成

「構成」設定は、SMM2 モジュールの管理に使用します。



図 44. 構成

12 のセクションがあります。

- Firmware Update (ファームウェア更新)
- SMTP
- SNMP
- PEF
- ネットワーク構成
- Time Setting (時刻設定)
- ユーザー・アカウント
- Account Security (アカウント・セキュリティー)
- サービス
- Web Certificate (Web 証明書)
- NTP
- バックアップおよびリストア

注：ハードウェアのリセット・ボタンを4秒以上押すと、すべての設定(「時刻設定」を除く)を出荷時のデフォルト設定に復元することができます。

## ファームウェア更新

ファームウェア更新プロセスには、2つのフェーズがあります。ファームウェア・アップロード・ステージでは、ユーザーがファームウェア・イメージが保存されている場所を選択できます。SMM2は、イメージ・ヘッダー情報をチェックして妥当性検査を行います。



図 45. ファームウェア更新

### アップロード

イメージ・ファイルを選択し、「アップロード」をクリックします。アップロード・プロセスによって他のすべてのセッションが終了します。アップロード・プロセスが開始した後、更新ページの最新表示、ログアウト、移動を行うとシステムが再起動します。

有効なファームウェア・イメージがアップロードされると、アップロードしたイメージのタイプに応じて、以下の2つのページのいずれかが表示されます。

- [32 ページの「SMM2 ファームウェア」](#)
- [33 ページの「PSU ファームウェア」](#)

## SMM2 ファームウェア

### Firmware Update

#### Upload

Select an image file and click upload. The upload process will terminate all other sessions.  
After the upload process is started, any attempt to refresh, logout or navigate away from the update page will restart the System.

Firmware File Path	<input type="text" value="Choose File"/> invgy_fw_s...noarch.com	<input type="button" value="Upload"/>
--------------------	--	---------------------------------------

#### Firmware Image

Current Version	New Version	Preserve Settings	Recover Primary Bank Firmware	Secure Rollback
0.03 (UMSM02P)	0.03 (UMSM02Q)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Upload is completed. Please click 'Update' to proceed firmware update or click 'Cancel' to terminate the update.  
System will be rebooted after Update/Cancel process.

<input type="button" value="Update"/>	<input type="button" value="Cancel"/>
---------------------------------------	---------------------------------------

図 46. SMM2 ファームウェア更新

ファームウェア・イメージ確認テーブルに「設定を保持する」チェック・ボックスが表示されます。「設定を保持する」にチェック・マークが付いている場合、SMM2 の構成が保持され、ファームウェア更新後に適用されます。保持される設定には、以下のものが含まれます。

- SMTP
- SNMP
- PEF
- ネットワーク構成
- Time Setting (時刻設定) (時刻は、「Preserve Settings (設定を保持する)」のチェックの有無に関係なく常に保持されます)。
- ユーザー・アカウント
- アカウント・セキュリティー
- サービス
- Web 証明書
- NTP

注：

1. ファームウェア更新ページには「プライマリー・フラッシュ・バンク・ファームウェアを回復する」チェック・ボックスがありますが、SMM2 がプライマリー・バンクから起動した場合は機能しません。SMM2 がセカンダリー・フラッシュ・バンクで起動した場合 (プライマリー・フラッシュ・バンク・イメージが破損していて回復が必要な可能性があることを示します)、このチェック・ボックスを選択できます。回復処理を実行してプライマリー・フラッシュ・バンクでイメージを更新する場合はチェック・マークを付け、ファームウェアをセカンダリー・フラッシュ・バンクにアップグレードする場合はチェック・マークを外します。
2. ファームウェア・イメージ確認テーブルの「Secure Rollback (セキュア・ロールバック)」オプションにより、以前のファームウェア・レベルへのロールバックが許可されるかどうかが決まります。デフォルトでは、無効(オフ)に設定されます。
3. ファームウェア・イメージのアップロード後にユーザーがファームウェア更新プロセスを取り消すと、SMM2 は自動的に再起動します。

ファームウェア更新中

ファームウェアの更新プロセス中は、ユーザーに「ロード中」ページが表示されます。このページが表示されている間は、すべての SMM2 機能が一時的にロックされます。

進行状況が 100% に達すると、SMM2 が自動的に再起動し、ユーザーが SMM2 Web インターフェースにアクセスするには再度ログインする必要があります。

## Firmware Update



100% Completed

**Firmware update in progress, leaving this page will not terminate this operation.**

SMM2 Firmware Image has been updated successfully  
The SMM2 has been reset. Therefore, your session is being terminated.  
[Click here to start a new session to access SMM2](#)

図 47. SMM2 ファームウェアの更新の完了

## PSU ファームウェア

### Firmware Update

#### Upload

Select an image file and click upload. The upload process will terminate all other sessions.  
After the upload process is started, any attempt to refresh, logout or navigate away from the update page will restart the System.

Firmware File Path  Invgy\_fw\_ps\_noarch.upd

#### PSU Firmware Image

Type	Vendor	Version
CFFv4 1800W PT	ARTE	6.21

#### PSU Firmware Update Information

Update PSU	PSU No	Type	Vendor	FRU	Current Version
<input type="radio"/>	1	CFFv4 2400W PT	DETA	XXXXXXX	7.13
<input type="radio"/>	2	CFFv4 1800W PT	ARTE		6.10

Upload is completed. Please select PSU and click 'Update' to proceed PSU firmware update or click 'Cancel' to terminate the update.  
Please make sure the system power is off or the system is configured with power redundant mode.

図 48. PSU ファームウェア更新 — DA240 エンクロージャー

## Firmware Update

### Upload

Select an image file and click upload. The upload process will terminate all other sessions.  
After the upload process is started, any attempt to refresh, logout or navigate away from the update page will restart the System.

Firmware File Path	<input type="text" value="Choose File"/> 1nvgy_fw_ps_noarch.upd	<input type="button" value="Upload"/>
--------------------	---	---------------------------------------

### PSU Firmware Image

Type	Vendor	Version
CFFv4 1800W PT	ARTE	6.21

### PSU Firmware Update Information

Update PSU	PSU No	Type	Vendor	FRU	Current Version
<input type="radio"/>	1	CFFv4 1800W PT	ARTE		6.21
<input type="radio"/>	2	N/A	N/A	N/A	N/A
<input type="radio"/>	3	N/A	N/A	N/A	N/A
<input type="radio"/>	4	N/A	N/A	N/A	N/A
<input type="radio"/>	5	N/A	N/A	N/A	N/A
<input type="radio"/>	6	N/A	N/A	N/A	N/A

Upload is completed. Please select PSU and click 'Update' to proceed PSU firmware update or click 'Cancel' to terminate the update.  
Please make sure the system power is off or the system is configured with power redundant mode.

<input type="button" value="Update"/>	<input type="button" value="Cancel"/>
---------------------------------------	---------------------------------------

図 49. PSU ファームウェア更新 — DW612 および DW612S エンクロージャー

PSU のファームウェア・イメージがアップロードされた後、ファームウェア・イメージの情報が互換性のあるパワー・サプライのチェックボックスとともに表示されます。

### 注：

1. エンクロージャーに少なくとも 2 個のパワー・サプライを取り付けて PSU ファームウェア更新を実行することをお勧めします。
2. PSU のファームウェア更新では、すべてのパワー・サプライが DC-PG 内にある必要があります。
3. PSU のファームウェア更新により、電源の冗長性モードが無効になります。
4. オペレーティング・システムが実行中の場合は、確認のための警告ダイアログ・ボックスがポップアップ表示されます。

### ファームウェア更新中

## Firmware Update



100% Completed

PSU firmware update in progress, leaving this page will not terminate this operation.

SMM2 Firmware Image has been updated successfully  
The SMM2 has been reset. Therefore, your session is being terminated.  
[Click here to start a new session to access SMM2](#)

図 50. PSU ファームウェアの更新の完了

PSU ファームウェアの更新プロセス中は、ユーザーに「ロード中」ページが表示されます。このページが表示されている間は、すべての SMM2 機能が一時的にロックされます。

進行状況が 100% に達すると、パワー・サプライは DC 電源サイクルを実行し、エンクロージャーが電源障害なしで正常に機能することを確認します。

## SMTP/SNMP/PEF

SMTP および SNMP トラップを構成することで、ユーザーはエンクロージャーで選択したイベントが発生していないかをモニターすることができます。SMTP/SNMP トラップのイベント・タイプは、PEF (プラットフォーム・イベント・フィルター) ページで設定することができます。

### SMTP

Before sending alert, please make sure changes to Sender Information, target Destination Email Address, SMTP (email) Server Settings, and SMTP Authentication have been saved by clicking Apply Changes.

#### Sender Information

From:

#### Destination Email Addresses

	Enable	Destination Email Address	Email Description	Test
Email Alert 1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="S8E2 email alert"/>	<input type="button" value="Send Alert 1"/>
Email Alert 2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="S8E2 email alert"/>	<input type="button" value="Send Alert 2"/>
Email Alert 3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="S8E2 email alert"/>	<input type="button" value="Send Alert 3"/>
Email Alert 4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="S8E2 email alert"/>	<input type="button" value="Send Alert 4"/>

#### SMTP (email) Server Settings

SMTP IP Address:   
SMTP Port Number:

#### SMTP Authentication

Enable:  Anonymous account will be used when authentication is disabled.  
Username:   
Password:   
STARTTLS Mode:   
SASL Mode:

図 51. SMTP



- **SMTP:** このページでは、SMTP メール・アラートを有効化、構成、およびテストできます。
  - メール・アラートをテストするには、「アラート番号の送信」をクリックします。
  - メール・アラートを有効にするには、PEF ページの「グローバル・アラートを有効にする」にチェック・マークを付けてください。
  - デフォルト値は次のとおりです。
    - すべてのメール・アラートが無効
    - メール・サーバー・アドレス = 0.0.0.0
    - 認証が無効

**注：**

1. メール・アラートを送信する前に、必ず「適用」をクリックして「送信者情報」、「宛先メールアドレス」、「SMTP (メール) サーバー設定」、「SMTP 認証」の変更内容を保存してください。
2. SMM2 SEL がいっぱいの場合、新しいイベント・エントリを SEL に追加することはできません。SMTP イベントのメールは、ログを消去するまで生成されません。

### SNMP

Before sending test trap, please make sure changes to the target Destination and Community String have been saved by clicking Apply Changes.

#### IP Destination List

Destination	Enable	IPv4/IPv6	IP Address	Test
IP Destination 1	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>
IP Destination 2	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>
IP Destination 3	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>
IP Destination 4	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>
IP Destination 5	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>
IP Destination 6	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>
IP Destination 7	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>
IP Destination 8	<input type="checkbox"/>	* <input type="radio"/>	0.0.0.0	<input type="button" value="Send Test Trap"/>

#### Community String

Community Name	public
----------------	--------

図 52. SNMP

- **SNMP:** このページでは、SNMP トラップを有効化、構成、およびテストできます。
  - イベント・トラップをテストするには、「テスト・トラップを送信」をクリックします。
  - 「コミュニティ名」では、英数字の値のみを使用して SNMP コミュニティ名を表示および構成します。この値を空にすることはできません。
  - PEF ページで「グローバル・アラートを有効にする」にチェック・マークを付けると、すべてのイベントが宛先 IP アドレスに送信されます。
  - SNMP トラップ・タイプの場合、イベントのターゲット・タイプに対して「PEF を生成する」ボックスにチェック・マークを付けます。

**注：**

1. テスト・トラップを送信する前に、必ず「適用」をクリックしてターゲットの「宛先」と「コミュニティ・ストリング」の変更内容を保存してください。
  2. SMM2 SEL がいっぱいになると、一部の PEF アラートが失われたり、繰り返し送信されたりする可能性があります。
- デフォルト値は次のとおりです。
    - すべてのトラップが無効
    - コミュニティ名 = public



## PEF

### Platform Event Filters (PEF) List

Global Alerting Enable Note: This enables/disables both PEF and email alerts.

Filter Name	Generate PET
All Type, Voltage Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Fan Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Power Supply Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Event Logging Disabled Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Module Or Board Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Chassis Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Slot Or Connector Critical Filter	<input type="checkbox"/>

Apply

図 53. PEF — DA240 エンクロージャー

## PEF

### Platform Event Filters (PEF) List

Global Alerting Enable Note: This enables/disables both PEF and email alerts.

Filter Name	Generate PET
All Type, Voltage Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Power Supply Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Event Logging Disabled Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Module Or Board Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Chassis Critical Filter	<input type="checkbox"/>
All Type, Slot Or Connector Critical Filter	<input type="checkbox"/>
Generic Type, Discrete Chassis (GPUWaterLoop Chk) Informational Filter	<input checked="" type="checkbox"/>

Apply

図 54. PEF — DW612 および DW612S エンクロージャー

- PEF: このページでは、SMTP/SNMP トラップ・イベント・タイプを設定できます。
  - デフォルト値は次のとおりです。
    - DA240 エンクロージャー
      - 「グローバル・アラートを有効にする」はオフ
      - フィルターの選択なし
    - DW612 および DW612S エンクロージャー
      - 「グローバル・アラートを有効にする」はオン
      - 汎用タイプ、ディスクリート・シャーシ (GPUWaterLoop Chk) 情報フィルターはオン

## ネットワーク構成

「ネットワーク構成」では、ネットワーク・パラメーターを変更できます。

「ネットワーク構成」セクションでは、以下のネットワーク・パラメーターを変更できます。

- Host Name (ホスト名)
- DNS Domain Name (DNS ドメイン名)
- Auto Negotiation Mode (自動ネゴシエーション・モード)
- Network Speed (ネットワーク速度)

- Duplex Mode (二重モード)
- IP バージョン (IPv4、IPv6) の有効/無効
- IP アドレス
- IP ソース (静的、最初に DHCP、次に静的)
- ゲートウェイ
- Subnet Mask (サブネット・マスク)
- DNS Server (DNS サーバー)
- VLAN (VLAN)

### Network Configuration

**General Settings**  
 To change the Network settings may change IP address settings.  
 Each change to settings may cause a loss in connectivity and the termination of all sessions.  
 Changes may not take effect immediately.

Host Name	SMM2-7C8AE1C7D87A
DNS Domain Name	lenovo.com

**Advance Settings**  
 Please click on eth0 below to further configure SMM2 network settings.

Name	IPv4 Enabled	IPv4 Address	IPv6 Enabled	IPv6 Address
eth0	Enabled	192.168.70.100	Enabled	1999::11/64

図 55. ネットワーク構成

### General Settings (共通設定)

ネットワーク設定を変更すると、IP アドレス設定が変更されることがあります。設定に変更を加えるたびに、接続が失われてすべてのセッションが終了する可能性があります。変更は即時に有効にならないことがあります。

「全般設定」のデフォルト設定:

- ホスト名 = SMM2-\$MAC\_ADDR
- DNS ドメイン名 = lenovo.com

### 詳細設定

以下の eth0 をクリックして、SMM2 ネットワーク設定をさらに構成します。

「詳細設定」のデフォルト設定:

- 名前 = eth0
- IPv4 有効 = 有効
- IPv4 アドレス = 192.168.70.100
- IPv6 有効 = 有効
- IPv6 アドレス = 1999::11/64

## Network Interface Configuration

Refresh Back

### Network Interface Settings

To change the Network Interface Configuration will require IP address settings.  
Each change to settings may cause a loss in connectivity and the termination of all sessions.  
Changes may not take effect immediately.

Device Type	Dedicated
MAC Address	00:c0:a8:12:99:77
Auto Negotiation	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
Network Speed	1000 Mb
Duplex Mode	<input checked="" type="radio"/> Full <input type="radio"/> Half

### General Settings

Enable Dynamic DNS	<input type="checkbox"/>
Use DHCP for DNS Domain Name	<input type="checkbox"/>
Respond to ARP	<input checked="" type="checkbox"/>

図 56. ネットワーク・インターフェース構成

「ネットワーク・インターフェース構成」の項目をクリックすると、詳細なネットワーク設定が表示されます。

「ネットワーク・インターフェース設定」のデフォルト設定:

- 自動ネゴシエーション = オン
- 動的 DNS の有効化 = オフ
- DNS ドメイン名に DHCP を使用する = オフ
- ARP に応答する = オン

### IPv4 Settings

Enabled	<input checked="" type="checkbox"/>
Method	First DHCP, then static IP address
IP Address	192.168.70.100
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.70.1
Use DHCP to obtain DNS server addresses	<input type="checkbox"/>
Preferred DNS Server	0.0.0.0
Alternate DNS Server	0.0.0.0

図 57. IPv4 設定

「IPv4 Settings (IPv4 設定)」のデフォルト設定:

- IPv4 有効 = オン
- メソッド:
  - 最初に DHCP、次に静的 IP アドレス (デフォルト): まず DHCP サーバーから IP を取得します。失敗した場合は静的 IP アドレスを使用します。
  - 静的 IP アドレスを使用: ユーザー構成に基づいて静的 IP アドレスを使用します。
  - DHCP から IP を取得: DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。
- IP アドレス = 192.168.70.100
- サブネット・マスク = 255.255.255.0
- ゲートウェイ = 192.168.70.1

- 優先 DNS サーバー = 空白
- 代替 DNS サーバー = 空白

#### IPv6 Settings

Enabled	<input checked="" type="checkbox"/>
Use DHCP	<input checked="" type="checkbox"/>
Use Stateless	<input checked="" type="checkbox"/>
IP Address 1	<input type="text" value="1999::11/64"/>
IP Address 2	<input type="text" value="::0"/>
Gateway	<input type="text" value="::"/>
Link Local Address	fe80::0a94:efff:fe2f:8fd0/64
Use DHCP to obtain DNS server addresses	<input type="checkbox"/>
Preferred DNS Server	<input type="text" value="::"/>
Alternate DNS Server	<input type="text" value="::"/>

図 58. IPv6 設定

「IPv6 Settings (IPv6 設定)」のデフォルト設定:

- IPv6 有効 = オン
- DHCP を使用する = オン
- ステートレス・アドレス自動構成を使用する = オン
- IP アドレス 1 = 空白 (ユーザーが構成)
- IP アドレス 2 = 空白 (ユーザーが構成)
- ゲートウェイ = 空白 (ユーザーが構成)
- リンク・ローカル・アドレス = MAC アドレスから自動的に変換
- DHCP を使用して DNS サーバー・アドレスを取得する = オフ
- 優先 DNS サーバー = 空白 (ユーザーが構成)
- 代替 DNS サーバー = 空白 (ユーザーが構成)

#### VLAN Settings

Enable VLAN ID	<input type="checkbox"/>
VLAN ID	<input type="text" value="0"/>
Priority	<input type="text" value="0"/>

図 59. VLAN 設定

「VLAN Settings (VLAN 設定)」のデフォルト設定:

- VLAN ID を有効にする = オフ

## 時刻設定

このページは、システム時刻を構成するのに使用されます。

## Time Settings

Refresh

### Data and Time Settings

Date and Time:

November 2020							Time					
<< < Now > >>							Hour					
Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa	0	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17
15	16	17	18	19	20	21	18	19	20	21	22	23
22	23	24	25	26	27	28	Minute					
29	30	1	2	3	4	5	:00	:05	:10	:15	:20	:25
							:30	:35	:40	:45	:50	:55
							Exact minutes: 42					
							Second					
							:00	:05	:10	:15	:20	:25
							:30	:35	:40	:45	:50	:55
							Exact seconds: 48					
Select Date and Time												

図 60. 時刻設定

日時を選択して適用します。日時が設定されると、ユーザーが設定をデフォルトに戻したり、ファームウェア更新中に「設定を保持する」のチェック・マークを外しても、常に時刻は保持されます。

## ユーザー・アカウント

「ユーザー・アカウント」ページでは、次の3タイプのユーザーの役割を管理することができます。

- **管理者:** すべての Web ページに対してフルアクセスを持ち、すべての設定および構成を変更することが許可されています。
- **オペレーター:** 「ユーザー・アカウント」ページを除くすべての Web ページに対してフルアクセスを持ちます。オペレーターは、「ユーザー・アカウント」ページでは自身のアカウントのみを確認ことができ、アカウント・ページで変更を行うことはできません。
- **ユーザー:** 「エンクロージャの背面の概要」ページの「SMM2のリセット」ボタンと「構成」タブの「SMTP/SNMP/PEF/ネットワーク構成/ユーザー・アカウント/Web サービス」ページを除くすべての Web ページに対してフルアクセスを持ちます。これらのページでの表示権限はありますが、変更は禁止されています。

特定のユーザーを構成するには、「ユーザー ID」をクリックします。「パスワードの複雑性の規則」が有効な場合、ユーザー構成の更新中にパスワードの強度チェックが有効になります。

注：

- 「パスワードの複雑性の規則」は、デフォルトではオプション4が有効になっています。初回ログイン時は以下の情報を使用してください。
  - ユーザー名 = USERID
  - パスワード = PASSWORD (PASSWORD の 6 番目の文字は数字のゼロです)
- 初回ログイン後、希望に応じてアカウントとパスワードの情報を変更できます。

## User Account

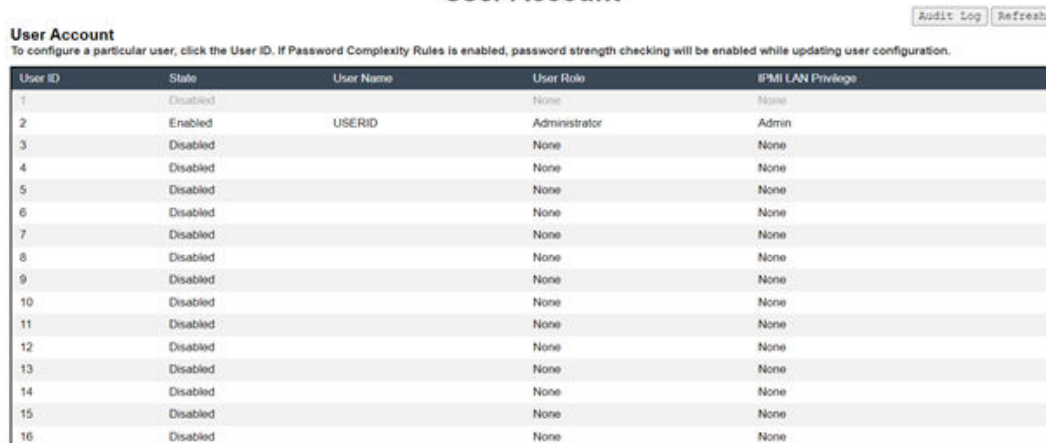


The screenshot shows the 'User Account' page with a 'Refresh' button in the top right. Below the title, there is a note: 'To configure a particular user, click the User ID. If Password Complexity Rules is enabled, password strength checking will be enabled while updating user configuration.' Below this note is a table with the following data:

User ID	State	User Name	User Role	IPMI LAN Privilege
3	Enabled	USER	User	User

図 61. ユーザー・アカウント・ページ・アクセス — ユーザーおよびオペレーター

## User Account



The screenshot shows the 'User Account' page with 'Audit Log' and 'Refresh' buttons in the top right. Below the title, there is a note: 'To configure a particular user, click the User ID. If Password Complexity Rules is enabled, password strength checking will be enabled while updating user configuration.' Below this note is a table with the following data:

User ID	State	User Name	User Role	IPMI LAN Privilege
1	Disabled		None	None
2	Enabled	USERID	Administrator	Admin
3	Disabled		None	None
4	Disabled		None	None
5	Disabled		None	None
6	Disabled		None	None
7	Disabled		None	None
8	Disabled		None	None
9	Disabled		None	None
10	Disabled		None	None
11	Disabled		None	None
12	Disabled		None	None
13	Disabled		None	None
14	Disabled		None	None
15	Disabled		None	None
16	Disabled		None	None

図 62. ユーザー・アカウント・ページ・アクセス — 管理者

管理者は、リストされたいずれかのアカウントをクリックして、「ユーザー構成」にアクセスできます。また、ここでアカウントの使用可能化/使用不可化/削除、ユーザー名の設定、パスワードの設定/変更、およびユーザー特権の選択を行うことができます。

注：

- 管理者は、「ユーザー名」フィールドで、英数字を使用して最大 16 文字でアカウント・ユーザー名を割り当てることができます。英数字には、a-z、A-Z、0-9、.(ピリオド)、-(ハイフン)、\_(下線)が含まれます。「変更の適用」ボタンをクリックして変更をアクティブにします。妥当性検査に失敗した場合、WebGUI にエラー・メッセージが表示されます。既存のユーザー名を使用して新しいユーザー・アカウントを作成することはできません。
- 管理者は、8 文字以上 (最大 20 文字) の印刷可能 US-ASCII (コード: 33-126) 文字を使用して、「新しいパスワード」フィールドでパスワードを設定/変更することができます。パスワードは、「アカウント・セキュリティ」ページで設定された「パスワードの複雑性の規則」に従う必要があります。規則は、規則 1 から、指定した規則数まで順番に有効にする必要があります。
  - 0x00: パスワードの複雑性の規則が無効です。空白文字と英字以外の文字 (~&<>/[]{}; など) は使用できません。
  - 0x01: 少なくとも 1 文字 (A ~ Z、a ~ z) を含めます。
  - 0x02: 少なくとも 1 つの数字 (0 ~ 9) を含めます。
  - 0x03: 次の 3 つのカテゴリのうち 2 つ以上を含めます。
    - 大文字 (A ~ Z)
    - 小文字 (a ~ z)
    - 英字以外の文字 (!@#%\$%^\*\_+=0.:|?\" など)
  - 0x04: 対応するユーザー名の繰り返しや反転は使用できません (デフォルト)。

- 0x05: 同じ文字の連続は 2 回までとします。
- 妥当性検査に失敗した場合、WebGUI にエラー・メッセージが表示されます。

図 63. パスワード・ポリシー

## アカウント・セキュリティー

アドバンスド・アカウント・セキュリティー設定では、以下のルールに基づいてさまざまな値を設定することができます。

表 3. アカウント・セキュリティー設定

ルール	値の範囲	デフォルト値
パスワードの複雑性の規則 (規則は、規則 1 から、指定した規則数まで順番に有効にする必要があります)	0-5	4
最小パスワード長	8-20	10
初回アクセス時にパスワードの変更をユーザーに強制する	有効にする場合はオン、無効にする場合はオフ	使用可能
パスワードの満了期間 (日数)	0-365	0
パスワード失効の警告期間 (日数)	0-パスワードの満了期間の値	0
最短パスワード変更期間 (時間)	0-240	24
最短パスワード再利用サイクル	0-10	5
最大ログイン失敗数	0-10	5
ログイン障害が最大回数に達した後のロックアウト期間 (分)	0-2880	60
Web 非アクティブ・セッションのタイムアウト (分) - 次回のログインが開始すると有効	0-1440	20
10 回のログイン失敗後に 300 秒 IP アドレスをブロック	有効にする場合はオン、無効にする場合はオフ	無効



## サービス

「サービス」ページでは、接続用のさまざまな HTTPS ポートを構成し、IPMI サービス状態を有効/無効にすることができます。

### Services

#### Web Server

HTTPS Port Number	<input type="text" value="443"/>
Max Sessions	32
Active Sessions	1

#### IPMI

Enabled	<input type="checkbox"/>
---------	--------------------------

図 64. サービス

「Services (サービス)」のデフォルト設定:

- HTTPS Port Number (HTTPS ポート番号) = 443

注: デフォルト HTTP ポートの 80 ではありません。

## Web 証明書

「Web 証明書」ページには、現在の証明書情報が表示されます。

ユーザーが CSR (証明書署名要求) の生成、証明書のインポート、および自己署名証明書の生成を行うための 3 つのボタンがあります。

### Web Certificate

#### Current Certificate

Serial Number	: 1A265D4518576914EADBEA0F7AE9F08F05A5641D
Subject Information:	
Country Code (CC)	: US
State (S)	: NC
Locality (L)	: RTP
Organization (O)	: ThinkServer
Common Name (CN)	: www.lenovo.com
Issuer Information:	
Country Code (CC)	: US
State (S)	: NC
Locality (L)	: RTP
Organization (O)	: ThinkServer
Common Name (CN)	: www.lenovo.com
Valid From	: 01 Jan 2017, 00:00:48 (UTC+0000)
Valid To	: 30 Dec 2026, 00:00:48 (UTC+0000)

図 65. Web 証明書



### 対象者情報:

- Country Code (国別コード) (CC) = US
- State (州) (S) = NC
- Locality (地域) (L) = RTP
- Organization (組織) (O) = ThinkServer
- Common Name (共通名) (CN) = www.lenovo.com

### 発行者情報:

- Country Code (国別コード) (CC) = US
- State (州) (S) = NC
- Locality (地域) (L) = RTP
- Organization (組織) (O) = ThinkServer
- Common Name (共通名) (CN) = www.lenovo.com

## Web Certificate

### Generate Certificate Signing Request (CSR)

Common Name	<input type="text"/>
Organization Name	<input type="text"/>
Organization Unit	<input type="text"/>
Locality	<input type="text"/>
State Name	<input type="text"/>
Country Code	<input type="text" value="Afghanistan"/>
Email	<input type="text"/>

図 66. CSR (証明書署名要求) の生成

「CSR の生成」 ボタンをクリックすると、証明書要求情報を入力し、CSR をダウンロードできます。ダウンロードが完了した後、CSR をサード・パーティーの証明機関に送信し、デジタル ID 証明書を申請することができます。

## Web Certificate

### Import a Signed Certificate

Uploading certificate will restart the web service, causing the termination of the current GUI session and temporary unavailability of the web server.

File Path	<input type="button" value="Choose File"/> No file chosen	<input type="button" value="Import Certificate"/>
-----------	---	---

図 67. 署名済み証明書のインポート

Import a Signed Certificate (署名済み証明書のインポート)

証明書をアップロードすると、Web サービスが再起動するため、現在の WebGUI セッションが終了して Web サーバーが一時的に使用できなくなります。

CA から署名済み証明書に関する回答を受け取ると、証明書をインポートできます。PEM 形式での証明書のインポートがサポートされています。DER 証明書は、「openssl x509 -inform der -in certificate.cer -out certificate.pem」によって PEM 形式に変換できます。証明書がインポートされた後、SMM2 Web に再接続する必要があります。

## Web Self-signed Certificate

### Generate Self-signed Certificate

Generating a self-signed certificate will restart the web service, causing the termination of the current GUI session and temporary unavailability of the web server.

Common Name	<input type="text"/>
Organization Name	<input type="text"/>
Organization Unit	<input type="text"/>
Locality	<input type="text"/>
State Name	<input type="text"/>
Country Code	<input type="text" value="Afghanistan"/>
Email	<input type="text"/>

図 68. Web 自己署名証明書

### Generate Self-signed Certificate (自己署名証明書の生成)

自己署名証明書を生成すると、Web サービスが再起動するため、現在の WebGUI セッションが終了して Web サーバーが一時的に使用できなくなります。

情報を入力し、このページの「生成」ボタンを押すことにより、自己署名証明書を生成することもできます。

## Network Time Protocol (NTP)

「NTP 時刻設定」ページでは、Network Time Protocol とタイム・ゾーンの設定を構成できます。

## NTP Time Settings

Sync Time Now Apply Changes Refresh

Use this page to configure the Network Time Protocol and Time Zone settings.

### Network Time Protocol

Operation Mode	Disabled
NTP Server 1	
NTP Server 2	
NTP Server 3	
Requested Mode's Update Frequency (minutes)	5
Time Synchronization Method	<input checked="" type="radio"/> Step Mode <input type="radio"/> Slew Mode

### Time Zone Setting

The Client Time Zone can be changed from modify the time zone of client operating system.

Use Server or Client Time Zone	<input checked="" type="radio"/> Server Time Zone <input type="radio"/> Client Time Zone		
Server Time Zone	UTC	Select...	Set to UTC

図 69. NTP 時刻設定

「NTP の時刻設定」では、ドロップダウン・メニューを使用して動作モードを変更し、テキスト・ボックスに NTP サーバー・アドレスを入力できます。また、更新頻度を設定し、時刻の同期方法を選択できます。設定を変更したら、「変更の適用」をクリックして構成を保存します。

「今すぐ時刻を同期」ボタンをクリックすると、すぐにソリューションと同期されます。

「タイム・ゾーン設定」では、ソリューションまたはクライアントのタイム・ゾーンを選択できます。クライアントのタイム・ゾーンは、オペレーティング・システムのタイム・ゾーンを変更することで変更できます。

「NTP Time Settings (NTP 時刻設定)」のデフォルト設定:

- 動作モード: 無効
- サーバーのタイム・ゾーン: UTC

## バックアップおよびリストア構成

構成は、設定または変更されると自動的に保存されます。ローカル・デバイスとの間で構成をバックアップまたはリストアできます。

ストレージ・デバイスが挿入されて検出された場合、それを SMM2 に使用して SEL とユーザーの構成を保持し、移行することができます。SMM2 は、バックアップおよびリストアのために最新の構成ファイルのみをストレージ・デバイスに保持します。

注: ストレージ・デバイスは、マシン・タイプに応じて USB デバイスにすることができます。1 GB を超える USB ストレージ・デバイスのストレージ容量が必要です。サポート・ファイル・システムは FAT32 です。詳しくは、ソリューションの「メンテナンス・マニュアル」/「ユーザー・ガイド」の「SMM2 データのバックアップとリストアのための USB フラッシュ・ドライブの交換」を参照してください。

# Backup and Restore Configuration

Set Password to backup / restore configuration.

Set Password:

Confirm Password:

---

Latest Network backup file time: N/A

Backup Configuration from Network

Apply

Restore from Network Backup Configuration

Choose File No file chosen

Apply

---

Latest storage device backup file time: N/A

Backup Configuration to storage device

Apply

Restore Configuration from storage device

Apply

Note:

The storage device can be a USB device

図 70. SMM2 バックアップおよびリストア構成

- **バックアップ:** ユーザーが SEL および以下のエンクロージャー構成をネットワーク経由または USB ストレージ・デバイスにバックアップできるようになります。
  - Power supply redundancy policy (パワー・サプライ冗長性ポリシー)
  - Oversubscription mode (オーバーサブスクリプション・モード)
  - ゼロ出力
  - エンクロージャー・キャッシング/節約または計算ノード・キャッシング/節約
  - 音響モード設定
  - Power restore policy (電源復元ポリシー)
  - 構成タブの設定
- **リストア:** ユーザーがネットワーク・バックアップまたは USB ストレージ・デバイスに保存されている構成を SMM2 にリストアして適用できるようになります。

## 第 4 章 IPMI コマンド

このセクションでは、IPMI コマンドに関する情報を示します。

注：RMCP+ または RMCP 経由の IPMI は、物理インターフェース、イーサネット・ポート経由の OOB 通信を通じて使用できます。

表 4. IPMI コマンド・リスト

NetFn	CMD	名前
0x32	0x90	GET PSU COLLECTED DATA
0x32	0x91	GET PSU STATUS
0x32	0x94	GET FAN GPIO
0x32	0x95	SET FAN GPIO
0x32	0x96	GET SYS LED
0x32	0x97	SET SYS LED
0x32	0x98	GET NODE POWER READING
0x32	0x99	GET NODE SIZE
0x32	0x9B	SET ACOUSTIC MODE (DA240 エンクロージャー にのみ該当)
0x32	0x9D	GET CAP BOUNDARY
0x32	0x9E	SET CAP VALUE
0x32	0x9F	SET CAP STATE
0x32	0xA0	GET CAP STATE
0x32	0xA1	SET DATE TIME
0x32	0xA2	GET PSU POLICY OVS
0x32	0xA3	SET PSU POLICY OVS
0x32	0xA4	SET NODE RESET / RESEAT
0x32	0xA5	GET PSU FAN STATUS
0x32	0xA6	BACKUP / RESTORE
0x32	0xA7	GET NODE STATUS
0x32	0xA8	GET SMM2 STATUS
0x32	0xA9	SET NODE RESTORE POLICY
0x32	0xAA	GET NODE RESTORE POLICY
0x32	0xAB	SET PSU ZERO OUTPUT MODE
0x32	0xAC	GET PSU ZERO OUTPUT MODE
0x32	0xAD	SMM2 RESET TO DEFAULT
0x32	0xAF	SET VPD
0x32	0xB0	GET VPD
0x32	0xB1	FFDC DUMP
0x32	0xB2	SET SMTP CONFIG PARAMETERS
0x32	0xB3	GET SMTP CONFIG PARAMETERS
0x32	0xB4	SET NTP CONFIG PARAMETERS

表 4. IPMI コマンド・リスト (続き)

0x32	0xB5	GET NTP CONFIG PARAMETERS
0x32	0xC3	GET PSU DATA
0x32	0xC7	GET NODE COOLING VALUE
0x32	0xF0	GET WEB STATE
0x32	0xF1	SET WEB STATE
0x32	0xF4	PSU ISP PSU SELECT
0x32	0xF5	ENCLOSURE VIRTUAL RESEAT
0x32	0xF6	SET SYSTEM ENCLOSURE LRU
0x32	0xFA	GET SECURITY OPTION
0x32	0xFB	SET SECURITY OPTION

## IPMI コマンドの内容

このセクションでは、詳細な IPMI コマンドの内容について説明します。

表 5. IPMI コマンドの内容

GET PSU COLLECTED DATA		NetFn	CMD
		0x32	0x90
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - タイプ	バイト 1 - タイプ バイト [3:2] - 最小読み取り値の要約 バイト [5:4] - 平均読み取り値の要約 バイト [7:6] - 最大読み取り値の要約	[要求データ] バイト 1 - タイプ 0x01 - AC 入力 0x02 - PSU 電力使用量 注：単位は 1 ワットです。	
GET PSU STATUS		NetFn	CMD
		0x32	0x91
要求データ	応答データ	コメント	
該当なし	バイト [2:1] - PSU EPOW バイト [4:3] - PSU スロットル バイト [6:5] - PSU が存在する バイト [8:7] - PSU 電源正常 バイト 9 - EPOW 出力 バイト 10 - スロットル出力 バイト [12:11] - PSU タイプ バイト [14:13] - 合計電力バンク	[応答データ] ビット [0:8] - PSU 1 ~ 9 の場合 0b - トリガーなし 1b - トリガー	

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

GET FAN GPIO		NetFn	CMD
		0x32	0x94
要求データ	応答データ	コメント	
該当なし	バイト 1 - 冷却モード バイト 2 - 存在する バイト 3 - エラー LED	[応答データ] バイト 1 - 冷却モード 0x01: 空冷モード (DA240 エンクロージャーにのみ該当) 0x02: 水冷モード (DW612 および DW612S エンクロージャーにのみ該当) バイト 2 - 存在する <ul style="list-style-type: none"> <li>• DW612 および DW612S エンクロージャー ビット [0:1] - ドリップ・センサー 1 ~ 2</li> <li>• DA240 エンクロージャー ビット [0:2] - システム・ファン 1 ~ 3</li> <li>• 0b - 存在しない</li> <li>• 1b - 存在する</li> </ul> バイト 3 - エラー LED <ul style="list-style-type: none"> <li>• DW612 および DW612S エンクロージャー ビット [0:1] - ドリップ・センサー 1 ~ 2</li> <li>• DA240 エンクロージャー ビット [0:2] - システム・ファン 1 ~ 3</li> <li>• 0b - オフ</li> <li>• 1b - オン</li> </ul> バイト 4 - 漏れ (DW612 および DW612S エンクロージャーにのみ該当) ビット [0:1] - ドリップ・センサー 1 ~ 2 0b: 漏れなし 1b: 漏れが検出されている	
SET FAN GPIO		NetFn	CMD
		0x32	0x95
要求データ	応答データ	コメント	

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

バイト 1 - ファン番号 バイト 2 - 有効	バイト 1 - ファン番号 バイト 2 - 有効	[応答データ] バイト 1 - ファン番号 • DA240 エンクロージャー 0x01 - ファン 1 0x02 - ファン 2 0x03 - ファン 3 • DW612 および DW612S エンクロージャー 0x01 - ドリップ・センサー 1 0x02 - ドリップ・センサー 2  バイト 2 - 有効 0x00 - オフ 0x01 - オン	
GET SYS LED		NetFn	CMD
		0x32	0x96
要求データ	応答データ	コメント	
該当なし	バイト 1 - エンクロージャーの ID LED バイト 2 - チェック・ログ LED	[応答データ] バイト 1 - エンクロージャーの ID LED 0x00 - オフ 0x01 - オン 0x02 - 点滅 0x03 - 受け入れモード - オフ 0x04 - 受け入れモード - オン 0x05 - 受け入れモード - 点滅  バイト 2 - チェック・ログ LED 0x00 - オフ 0x01 - オン	
SET SYS LED		NetFn	CMD
		0x32	0x97
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - LED タイプ バイト 2 - 機能	バイト 1 - LED タイプ バイト 2 - 機能	[要求データ] バイト 1 - LED タイプ 0x01 - エンクロージャーの ID LED  バイト 2 - 機能 0x00 - オフ 0x01 - オン 0x02 - 点滅  注 :	



表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>ID LED は「オフ」に設定されていますが、SMM2 が受け入れモードになります。このモードでは、LED の動作がノード ID LED によって決定されます。</li> <li>SMM2 が受け入れモードで XCC から各種設定を受け取ると、「オン」と「オフ」より「点滅」の優先順位が高くなります(「オフ」の優先順位が最も低くなります)。</li> </ul>				
GET NODE POWER READING		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0x98</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0x98
NetFn	CMD					
0x32	0x98					
要求データ	応答データ	コメント				
バイト 1 - ノード番号	バイト 1 - ノード番号  バイト [3:2] - 計算ノードの最小電力読み取り値  バイト [5:4] - 計算ノードの平均電力読み取り値  バイト [7:6] - 計算ノードの最大電力読み取り値  <b>DW612 および DW612S エンクロージャーのみ:</b>  バイト [9:8] - GPU ノードの最小電力読み取り値  バイト [11:10] - GPU ノードの平均電力読み取り値  バイト [13:12] - GPU ノードの最大電力読み取り値  <b>注:</b> 以下のノードのみこれらのバイトに戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SD650-N V2</li> <li>SD650-I V3</li> </ul> 以下のノードは 0x00 に応答します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SD650 V2</li> <li>SD650 V3</li> <li>SD665 V3</li> </ul> <b>DA240 エンクロージャーのみ:</b>  バイト [13:8] - 0x00	[要求データ]  バイト 1 - ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>DA240 エンクロージャー               <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - エンクロージャー</li> </ul> </li> <li>DW612 および DW612S エンクロージャー               <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - ノード 5</li> <li>0x06 - ノード 6</li> <li>0x07 - ノード 7</li> <li>0x08 - ノード 8</li> <li>0x09 - ノード 9</li> <li>0x0A - ノード 10</li> <li>0x0B - ノード 11</li> <li>0x0C - ノード 12</li> <li>0x0D - エンクロージャー</li> </ul> </li> </ul> [応答データ]  DA240 エンクロージャー の場合:  バイト [13:8] - 0x00  <b>注:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>単位は 1 ワットです。</li> </ul>				

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>エンクロージャの電力読み取り値は、装着された計算ノードの合計です。</li> </ul>				
GET NODE SIZE		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0x99</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0x99
NetFn	CMD					
0x32	0x99					
要求データ	応答データ	コメント				
バイト 1 - ノード番号  バイト 2 - ノードの物理的な幅  バイト 3 - ノードの物理的な高さ  バイト 4 - アドオン有効  バイト 5 - アドオンの幅  バイト 6 - アドオンの高さ		このコマンドは、計算ノードの寸法を表示します。  [要求データ]  バイト 1 - ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>DA240 エンクロージャ                         <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> </ul> </li> <li>DW612 および DW612S エンクロージャ                         <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - ノード 5</li> <li>0x06 - ノード 6</li> <li>0x07 - ノード 7</li> <li>0x08 - ノード 8</li> <li>0x09 - ノード 9</li> <li>0x0A - ノード 10</li> <li>0x0B - ノード 11</li> <li>0x0C - ノード 12</li> </ul> </li> </ul>				
SET ACOUSTIC MODE (DA240 エンクロージャ にのみ該当)		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0x9B</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0x9B
NetFn	CMD					
0x32	0x9B					
要求データ	応答データ	コメント				
該当なし	バイト 1 - 音響モード  バイト 2 - PCIe の優先順位	このセクションは、DA240 エンクロージャ にのみ該当します。  [要求データ]  バイト 1 - 音響モード <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - 無効化、10% ~ 70%</li> <li>0x01 - モード 1、10% ~ 20%</li> <li>0x02 - モード 2、10% ~ 28%</li> <li>0x03 - モード 3、10% ~ 35%</li> <li>0x04 - モード 4、10% ~ 45%</li> </ul>				
バイト 1 - 音響モード						

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		0x05 - モード 5、30% ~ 70%、追加で 10% の負荷 [応答データ] バイト 2 - PCIe の優先順位 0x00 - なし 0x01 - 高
GET CAP BOUNDARY		NetFn 0x32
		CMD 0x9D
要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - ノード番号	バイト 1 - ノード番号 バイト [3:2] - 最小キャッピング バイト [5:4] - 最大キャッピング バイト [7:6] - 保護キャッピング バイト [9:8] - ユーザー・キャッピング バイト [11:10] - 温度キャッピング	[要求データ] バイト 1 - ノード番号 • DA240 エンクロージャー 0x01 - ノード 1 0x02 - ノード 2 0x03 - ノード 3 0x04 - ノード 4 0x05 - エンクロージャー • DW612 および DW612S エンクロージャー 0x01 - ノード 1 0x02 - ノード 2 0x03 - ノード 3 0x04 - ノード 4 0x05 - ノード 5 0x06 - ノード 6 0x07 - ノード 7 0x08 - ノード 8 0x09 - ノード 9 0x0A - ノード 10 0x0B - ノード 11 0x0C - ノード 12 0x0D - エンクロージャー  注： • キャッピングは、OS 実行時のみ適用されます。 • 単位は 1 ワットです。 • 次のトレイは、ユーザー・キャッピングと温度キャッピングをサポートしていません。

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		- SD665 V3	
SET CAP VALUE		NetFn	CMD
		0x32	0x9E
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - ノード番号  バイト [3:2] - キャッピング値	バイト 1 - ノード番号  バイト [3:2] - キャッピング値	[要求データ]  バイト 1 - ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DA240 エンクロージャー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - エンクロージャー</li> </ul> </li> <li>• DW612 および DW612S エンクロージャー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - ノード 5</li> <li>0x06 - ノード 6</li> <li>0x07 - ノード 7</li> <li>0x08 - ノード 8</li> <li>0x09 - ノード 9</li> <li>0x0A - ノード 10</li> <li>0x0B - ノード 11</li> <li>0x0C - ノード 12</li> <li>0x0D - エンクロージャー</li> </ul> </li> </ul> 注： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位は 1 ワットです。</li> <li>• 次のトレイは、ユーザー・キャッピングと温度キャッピングをサポートしていません。</li> </ul> - SD665 V3	
SET CAP STATE		NetFn	CMD
		0x32	0x9F

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - ノード番号  バイト 2 - キャッピング・モード  バイト 3 - 節約モード	バイト 1 - ノード番号  バイト 2 - キャッピング・モード  バイト 3 - 節約モード	[要求データ]  バイト 1 - ノード番号 • DA240 エンクロージャー 0x01 - ノード 1 0x02 - ノード 2 0x03 - ノード 3 0x04 - ノード 4 0x05 - エンクロージャー • DW612 および DW612S エンクロージャー 0x01 - ノード 1 0x02 - ノード 2 0x03 - ノード 3 0x04 - ノード 4 0x05 - ノード 5 0x06 - ノード 6 0x07 - ノード 7 0x08 - ノード 8 0x09 - ノード 9 0x0A - ノード 10 0x0B - ノード 11 0x0C - ノード 12 0x0D - エンクロージャー  バイト 2 - キャッピング・モード 0x00 - 無効化 0x01 - 有効化  バイト 3 - 節約モード 0x00 - 無効化 0x01 - 有効化  注：次のトレイは、ユーザー・キャッピングと温度キャッピングをサポートしていません。 • SD665 V3	
GET CAP STATE		NetFn	CMD
		0x32	0xA0

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - ノード番号	バイト 1 - ノード番号  バイト 2 - キャッピング・モード  バイト [4:3] - キャッピング値  バイト 5 - 節約モード	[要求データ]  バイト 1 - ノード番号 • DA240 エンクロージャー 0x01 - ノード 1 0x02 - ノード 2 0x03 - ノード 3 0x04 - ノード 4 0x05 - エンクロージャー • DW612 および DW612S エンクロージャー 0x01 - ノード 1 0x02 - ノード 2 0x03 - ノード 3 0x04 - ノード 4 0x05 - ノード 5 0x06 - ノード 6 0x07 - ノード 7 0x08 - ノード 8 0x09 - ノード 9 0x0A - ノード 10 0x0B - ノード 11 0x0C - ノード 12 0x0D - エンクロージャー  [応答データ]  バイト 2 - キャッピング・モード 0x00 - 無効化 0x01 - 有効化  バイト 5 - 節約モード 0x00 - 無効化 0x01 - 有効化	
SET DATE TIME	NetFn	CMD	
	0x32	0xA1	

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント
バイト [1:2] - 年	バイト [1:2] - 年	[要求データ]
バイト 3 - 月	バイト 3 - 月	例: 2037/12/31 23:59:59
バイト 4 - 日	バイト 4 - 日	バイト 1 - 0x20
バイト 5 - 時	バイト 5 - 時	バイト 2 - 0x37
バイト 6 - 分	バイト 6 - 分	バイト 3 - 0x12
バイト 7 - 秒	バイト 7 - 秒	バイト 4 - 0x31
		バイト 5 - 0x23
		バイト 6 - 0x59
		バイト 7 - 0x59
GET PSU POLICY OVS		NetFn
		CMD
		0x32
		0xA2
要求データ	応答データ	コメント
該当なし	バイト 1 - PSU ポリシー	[応答データ]
	バイト 2 - オーバーサブスクリプション (OVS) モード	バイト 1 - PSU ポリシー
		0x00 - 冗長性なし
		0x01 - N+1 ポリシー
		バイト 2 - オーバーサブスクリプション (OVS) モード
		0x00 - 無効化
		0x01 - 有効化
SET PSU POLICY OVS		NetFn
		CMD
		0x32
		0xA3
要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - PSU ポリシー	バイト 1 - システム PSU ポリシー	[要求データ]
バイト 2 - オーバーサブスクリプション (OVS) モード	バイト 2 - システム・オーバーサブスクリプション (OVS) モード	バイト 1 - システム PSU ポリシー
	バイト 3 - ステータス	0x00 - 冗長性なし
	バイト 4 - ユーザー PSU ポリシー	0x01 - N+1 ポリシー
	バイト 5 - ユーザー・オーバーサブスクリプション (OVS) モード	バイト 2 - システム・オーバーサブスクリプション (OVS) モード
		0x00 - 無効化
		0x01 - 有効化
		[応答データ]
		バイト 3 - ステータス
		0x00 - OK
		0x01 - エラーが存在
		0x02 - バンク不足

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		バイト 4 - ユーザー PSU ポリシー バイト 5 - ユーザー・オーバーサブスクリプション (OVS) モード
SET NODE RESET / RESEAT		NetFn 0x32
		CMD 0xA4
要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - ノード番号 バイト 2 - リセット・モード	バイト 1 - ノード番号 バイト 2 - リセット・モード	[要求データ] バイト 1 - ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DA240 エンクロージャー <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> </ul> </li> <li>• DW612 および DW612S エンクロージャー <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - ノード 5</li> <li>0x06 - ノード 6</li> <li>0x07 - ノード 7</li> <li>0x08 - ノード 8</li> <li>0x09 - ノード 9</li> <li>0x0A - ノード 10</li> <li>0x0B - ノード 11</li> <li>0x0C - ノード 12</li> </ul> </li> </ul> バイト 2 - リセット・モード 1 - リセット (XCC リセット) 2 - 再取り付け (AC サイクル)  注: 応答 D5h は、計算ノードが存在しない状態を示しています。
GET PSU FAN STATUS		NetFn 0x32
		CMD 0xA5



表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - PSU 番号	バイト 1 - PSU 番号 バイト [3:2] - ファン A の速度 バイト 4 - ファン A の負荷 バイト [6:5] - ファン B の速度 バイト 7 - ファン B の負荷 バイト 8 - PSU ステータス	[要求データ] バイト 1 - PSU 番号 • DA240 エンクロージャー 0x01 - PSU 1 0x02 - PSU 2 • DW612 および DW612S エンクロージャー 0x01 - PSU 1 0x02 - PSU 2 0x03 - PSU 3 0x04 - PSU 4 0x05 - PSU 5 0x06 - PSU 6 0x07 - PSU 7 0x08 - PSU 8 0x09 - PSU 9 [応答データ] バイト [3:2] - ファン A の速度 バイト [6:5] - ファン B の速度 単位は 1 RPM です。 バイト 4 - ファン A の負荷 バイト 7 - ファン B の負荷 負荷比率は 1 ~ 100 です。 バイト 8 - PSU ステータス 0x00 - 存在しない 0x01 - 異常 (2,000 RPM 未満) 0x02 - 正常 0x03 - ファン障害 注: 単一ファン PSU の場合、バイト [7:5] は 0x00 になります。
BACKUP / RESTORE		NetFn
		CMD
		0x32
		0xA6

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント
<p>バイト 1 - 操作</p> <p>バイト 2 - パスワードの長さ</p> <p>バイト [3:N] - パスワード文字列</p>	<p>バイト 1 - ステータス</p>	<p>[要求データ]</p> <p>バイト 1 - 操作</p> <p>0x00 - バックアップまたは復元ステータスを取得</p> <p>0x01 - ストレージ・デバイスにバックアップ</p> <p>0x02 - ストレージ・デバイスから復元</p> <p>バイト 2 - パスワードの長さ</p> <p>(操作が 0x01 または 0x02 の場合にサポートされます)</p> <p>バイト [3:N] - パスワード文字列</p> <p>(操作が 0x01 または 0x02 の場合にサポートされます)</p> <p>[応答データ]</p> <p>バイト 1 - ステータス</p> <p>0x00 - コマンド OK</p> <p>0x01 - バックアップの復元を実行中</p> <p>0x31 - バックアップ完了</p> <p>0x32 - バックアップ失敗</p> <p>0x41 - 復元完了</p> <p>0x42 - 復元失敗</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• このコマンドは、USB デバイスなどの外部ストレージ・デバイスとの間で構成のバックアップや復元を実行するために使用します。ストレージ・デバイスが挿入されていない場合、ステータスは障害になります。</li> <li>• 要求操作が 0x01 または 0x02 の場合、パスワード文字列には、8 文字以上 (最大 20 文字) の印刷可能 US-ASCII (コード: 33-126) 文字と、以下の 4 つのカテゴリのうち 3 つのカテゴリの文字が含まれている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 英語の大文字 (A から Z)</li> <li>- 英語の小文字 (a から z)</li> <li>- 10 進数字 (0 から 9)</li> <li>- 英字以外の文字 (!, \$, #, % など)</li> </ul> </li> </ul>

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		注：パスワードの検証に失敗した場合、コマンドは 0xCC ステータス・コードを返します。
GET NODE STATUS		NetFn
		CMD
		0x32
		0xA7
要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - ノード番号	バイト 1 - ノード番号 バイト 2 - 電源状態 バイト 3 - 幅 バイト 4 - 高さ バイト 5 - アクセス権限の状態	このコマンドは、計算ノードの現在のステータスを報告するために使用されます。 [要求データ] バイト 1 - ノード番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DA240 エンクロージャー               <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> </ul> </li> <li>• DW612 および DW612S エンクロージャー               <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - ノード 5</li> <li>0x06 - ノード 6</li> <li>0x07 - ノード 7</li> <li>0x08 - ノード 8</li> <li>0x09 - ノード 9</li> <li>0x0A - ノード 10</li> <li>0x0B - ノード 11</li> <li>0x0C - ノード 12</li> </ul> </li> </ul> [応答データ] バイト 2 - 電源状態 <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - 電源オフ</li> <li>0x20 - アクセス権限なし</li> <li>0x40 - システム・ボードの電源障害</li> <li>0x80 - 電源オン</li> </ul> バイト 5 - アクセス権限の状態 <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - アクセス権限がスタンバイ</li> <li>0x01 - 最初のアクセス権限が失敗</li> <li>0x02 - 2 番目のアクセス権限が失敗</li> <li>0x03 - アクセス権限が合格</li> </ul>

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		0xFF - 初回が未完了	
GET SMM2 STATUS		NetFn	CMD
		0x32	0xA8
要求データ	応答データ	コメント	
該当なし	バイト 1 - プラットフォーム ID バイト 2 - ファームウェア・メジャー・バージョン バイト 3 - ファームウェア・マイナー・バージョン バイト 4 - PSOC メジャー・バージョン バイト 5 - PSOC マイナー・バージョン バイト 6 - ブート・フラッシュ番号 バイト [7:13] - ファームウェア・ビルド ID バイト 14 - エンクロージャー・タイプ	[応答データ] バイト 1 - プラットフォーム ID 0xFC - DW612S エンクロージャー 0xFD - DW612 エンクロージャー 0xFE - DA240 エンクロージャー バイト 6 - ブート・フラッシュ番号 0x01 - フラッシュ 1 0x02 - フラッシュ 2 (フェイルオーバー) バイト [7:13] - ファームウェア・ビルド ID ASCII コードのプレーン・テキスト バイト 14 - エンクロージャー・タイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>• DW612S エンクロージャー                         <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - 6 PSU</li> <li>0x02 - 6 + 3 PSU</li> <li>0x03 - 9 PSU</li> <li>0x05 - 2 + 1 DWC PSU</li> <li>0x06 - 3 DWC PSU</li> </ul> </li> <li>• DW612 エンクロージャー                         <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - 6 PSU</li> <li>0x02 - 6 + 3 PSU</li> <li>0x03 - 9 PSU</li> </ul> </li> <li>• DA240 エンクロージャー                         <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - 該当なし</li> </ul> </li> </ul>	
SET NODE RESTORE POLICY		NetFn	CMD
		0x32	0xA9

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント				
DA240 エンクロージャー バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリシー DW612 および DW612S エ ンクロージャーのみ: バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリシー バイト 2 - ノード 5 ~ 8 の復元ポリシー バイト 3 - ノード 9 ~ 12 の復元ポリシー	DA240 エンクロージャー バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリ シー DW612 および DW612S エンクロー ジャーのみ: バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリ シー バイト 2 - ノード 5 ~ 8 の復元ポリ シー バイト 3 - ノード 9 ~ 12 の復元ポリ シー	<p>このコマンドは、USB デバイスなどの外部 ストレージ・デバイスとの間で構成のバック アップや復元を実行するために使用され ます。ストレージ・デバイスが挿入されて いない場合、エラーが返されます。</p> <p>[要求データ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DA240 エンクロージャー             <ul style="list-style-type: none"> <li>バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリシー</li> <li>- ビット [1:0] - ノード 1                 <ul style="list-style-type: none"> <li>01b - 最後の状態</li> <li>00b - オフ</li> </ul> </li> <li>- ビット [3:2] - ノード 2</li> <li>- ビット [5:4] - ノード 3</li> <li>- ビット [7:6] - ノード 4</li> </ul> </li> <li>• DW612 および DW612S エンクロージャー             <ul style="list-style-type: none"> <li>バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリシー</li> <li>- ビット [1:0] - ノード 1                 <ul style="list-style-type: none"> <li>01b - 最後の状態</li> <li>00b - オフ</li> </ul> </li> <li>- ビット [3:2] - ノード 2</li> <li>- ビット [5:4] - ノード 3</li> <li>- ビット [7:6] - ノード 4</li> <li>バイト 2 - ノード 5 ~ 8 の復元ポリシー</li> <li>- ビット [1:0] - ノード 5</li> <li>- ビット [3:2] - ノード 6</li> <li>- ビット [5:4] - ノード 7</li> <li>- ビット [7:6] - ノード 8</li> <li>バイト 3 - ノード 9 ~ 12 の復元ポリ シー</li> <li>- ビット [1:0] - ノード 9</li> <li>- ビット [3:2] - ノード 10</li> <li>- ビット [5:4] - ノード 11</li> <li>- ビット [7:6] - ノード 12</li> </ul> </li> </ul>				
GET NODE RESTORE POLICY		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0xAA</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0xAA
NetFn	CMD					
0x32	0xAA					

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント	
該当なし	DA240 エンクロージャ バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリシー  DW612 および DW612S エンクロージャのみ: バイト 1 - ノード 1 ~ 4 の復元ポリシー バイト 2 - ノード 5 ~ 8 の復元ポリシー バイト 3 - ノード 9 ~ 12 の復元ポリシー	詳しくは、 <a href="#">SET NODE RESTORE POLICY</a> を参照してください。	
SET PSU ZERO OUTPUT MODE		NetFn	CMD
		0x32	0xAB
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - ユーザー構成	バイト 1 - システム構成	詳しくは、 <a href="#">GET PSU ZERO OUTPUT MODE</a> 。 注：サポートされていないパワー・サプライがある場合やパワー・サプライが一致しない場合、ゼロ出力モードが無効になります。	
GET PSU ZERO OUTPUT MODE		NetFn	CMD
		0x32	0xAC
要求データ	応答データ	コメント	
該当なし	バイト 1 - ユーザー構成  バイト 2 - システム構成  バイト 3 - ステータス	[応答データ]  バイト 1 - ユーザー構成  バイト 2 - システム構成 0x00 - 無効化 0x01 - 10 分ごとの更新 0x02 - 30 分ごとの更新 0x03 - 60 分ごとの更新  バイト 3 - ステータス 0x00 - 正常 0x01 - サポートされていない	
SMM2 RESET TO DEFAULT		NetFn	CMD
		0x32	0xAD

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

要求データ	応答データ	コメント
該当なし	バイト 1 - ステータス・コード	このコマンドは、ユーザーが SMM2 をデフォルト値にリセットするために使用されます。  [応答データ] バイト 1 - ステータス・コード 0x00 - 実行中  注：システムがリセット中の場合、IPMI コマンドは発行時に処理されません。
SET VPD		NetFn 0x32
		CMD 0xAF
要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - VPD のタイプ バイト 2 - デバイス ID バイト [3:N] - VPD データ	バイト 1 - VPD のタイプ バイト 2 - デバイス ID	[応答データ] バイト 1 - VPD のタイプ 0x00 - SMM2 0x05 - エンクロージャー 0x06 - 上段 PDB 0x07 - 下段 PDB 0x08 - ミッドプレーン  バイト 2 - デバイス ID 0x00 - マシン・タイプ・モデル、エンクロージャーの場合のみ、10 バイト 0x01 - マシン・シリアル番号、エンクロージャーの場合のみ、10 バイト 0x02 - コンポーネント部品番号、SMM2 の場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン 12 バイト 0x03 - コンポーネント FRU 番号、SMM2 の場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン 12 バイト 0x04 - コンポーネント・シリアル番号、SMM2 の場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン 12 バイト 0x05 - 製造 ID、SMM2 とエンクロージャーの場合、4 バイト 0x06 - ハードウェア・リビジョン・レベル、SMM2 とエンクロージャーの場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン、1 バイト 0x07 - 製造日、SMM2 とエンクロージャーの場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン、4 バイト

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		<p>0x08 - 汎用固有 ID (UUID)、SMM2 とエンクロージャーの場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン、16 バイト</p> <p>0x09 - IANA エンタープライズ番号、エンクロージャーの場合、4 バイト</p> <p>0x0A - 製品 ID、エンクロージャーの場合のみ、2 バイト</p> <p>0x0B - コンポーネント名、SMM2 とエンクロージャーの場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン、64 バイト</p> <p>0x0C - グローバル識別子 (GLID)、エンクロージャーの場合のみ、11 バイト</p> <p>0x0D - EC レベル、SMM2 とエンクロージャーの場合、上段/下段 PDB、ミッドプレーン、10 バイト</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 上段および下段 PDB は、DA240 エンクロージャーにのみ該当します。</li> <li>• ミッドプレーンは、DW612 および DW612S エンクロージャーにのみ該当します。</li> </ul>				
GET VPD		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0xB0</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0xB0
NetFn	CMD					
0x32	0xB0					
要求データ	応答データ	コメント				
<p>バイト 1 - VPD のタイプ</p> <p>バイト 2 - デバイス ID</p>	<p>バイト 1 - VPD のタイプ</p> <p>バイト 2 - デバイス ID</p> <p>バイト [3:N] - VPD データ</p>	<p>詳しくは、<a href="#">SET VPD</a>。</p>				
FFDC DUMP		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0xB1</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0xB1
NetFn	CMD					
0x32	0xB1					
要求データ	応答データ	コメント				
<p>バイト 1 - 機能</p> <p>バイト [2:N] - データ (オプション)</p>	<p>バイト 1 - ステータス</p>	<p>[要求データ]</p> <p>バイト 1 - 機能</p> <p>NA - FFDC のダンプを開始</p> <p>0x00 - ステータスの照会</p> <p>0x01 - TFTP サーバーのアドレスとパスを設定</p> <p>バイト [2:N] - データ (オプション)</p> <p>TFTP サーバーのアドレスとパスの ASCII 文字列。「/」で区切ります。パスを空にすることはできません。</p> <p>[応答データ]</p>				



表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		<p>バイト 1 - ステータス</p> <p>FFDC のダンプを開始するには:</p> <p>0x00 - FFDC のダンプを開始</p> <p>ステータスの照会の場合:</p> <p>0x00 - 完了およびファイル名を返す</p> <p>0x01 - 実行中</p> <p>0x02 - 予約済み</p> <p>0x03 - USB なし</p> <p>0x04 - Tar 障害</p> <p>0x0E - アップロード失敗</p> <p>0x0F - TFTP サーバーが見つからない</p> <p>TFTP サーバーのアドレスとパスを設定するには:</p> <p>0x00 - 完了</p> <p>注：フィールドの最大長は 64 文字です。</p> <p>IPMI 経由で FFDC をダンプするには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. IP が 16 進数である TFTP サーバー・アドレスを設定します。以下の例では、TFTP サーバー・アドレスを 192.168.1.1 に設定しています。 <pre>ipmitool -H SMM2_IP -U USERID -P PASSWORD -I lanplus raw 0x32 0xB1 0x01 0x31 0x39 0x32 0x2E 0x31 0x36 0x38 0x2E 0x31 0x2E 0x31</pre> </li> <li>2. FFDC のダンプの実行 <pre>ipmitool -H SMM2_IP -U USERID -P PASSWORD -I lanplus raw 0x32 0xB1</pre> </li> <li>3. FFDC ダンプ状態照会 <pre>ipmitool -H SMM2_IP -U USERID -P PASSWORD -I lanplus raw 0x32 0xB1 0x00</pre> </li> </ol> <p>注：FFDC ログ・ファイル名は、SMM2-MAC_addr-FFDC-YYYY-MM-DD-HHMMSS.tgz です。</p>
SET SMTP CONFIG PARAMETERS	NetFn	CMD
	0x32	0xB2
要求データ	応答データ	コメント
<p>バイト 1 - パラメーター・セレクター</p> <p>バイト [2:N] - データ</p>	<p>バイト 1 - パラメーター・セレクター</p> <p>バイト [2:N] - データ</p>	<p>注：パラメーター・セレクターとデータについては、75 ページの「SMTP 構成パラメーター」の表を参照してください。</p>

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

GET SMTP CONFIG PARAMETERS		NetFn	CMD
		0x32	0xB3
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - パラメーター・セレクター  バイト 2 - セット・セレクター  バイト 3: ブロック・セレクター	バイト 1 - パラメーター・セレクター  バイト [2:N] - データ	[要求データ]  バイト 2 - セット・セレクター 0x00 - パラメーターにはセット・セレクターが必要ありません。  バイト 3: ブロック・セレクター 0x00 - パラメーターにはブロック・セレクターが必要ありません。  注: パラメーター/セット/ブロック・セレクターとデータについては、75 ページの「SMTP 構成パラメーター」の表を参照してください。	
SET NTP CONFIG PARAMETERS		NetFn	CMD
		0x32	0xB4
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - パラメーター・セレクター  バイト [2:N] - データ	バイト 1 - パラメーター・セレクター  バイト [2:N] - データ	注: パラメーター・セレクターとデータについては、78 ページの「NTP 構成パラメーター」の表を参照してください。	
GET NTP CONFIG PARAMETERS		NetFn	CMD
		0x32	0xB5
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - パラメーター・セレクター	バイト 1 - パラメーター・セレクター  バイト [2:N] - データ	注: パラメーター・セレクターとデータについては、78 ページの「NTP 構成パラメーター」の表を参照してください。	
GET PSU DATA		NetFn	CMD
		0x32	0xC3
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - PSU 番号	バイト 1 - PSU 番号  バイト [3:2] - ファン A の速度  バイト [5:4] - ファン B の速度  バイト [7:6] - VIN  バイト [9:8] - PSU タイプ	[要求データ]  バイト 1 - PSU 番号 • DA240 エンクロージャー 0x01 - PSU 1 0x02 - PSU 2  • DW612 および DW612S エンクロージャー 0x01 - PSU 1 0x02 - PSU 2 0x03 - PSU 3 0x04 - PSU 4	

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		<p>0x05 - PSU 5                  0x06 - PSU 6                  0x07 - PSU 7                  0x08 - PSU 8                  0x09 - PSU 9</p> <p>[応答データ]                  バイト [3:2] - ファン A の速度                  バイト [5:4] - ファン B の速度                  単位は 1 RPM です。                  バイト [7:6] - VIN                  単位は 1 ボルトです。                  バイト [9:8] - PSU タイプ                  単位は 1 ワットです。</p> <p>注：単一ファン PSU の場合、ファン B の速度は 0x00 になります。</p>				
GET NODE COOLING VALUE		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0xC7</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0xC7
NetFn	CMD					
0x32	0xC7					
要求データ	応答データ	コメント				
バイト 1 - ノード番号	バイト 1 - ノード番号 バイト 2 - 冷却値	<p>[要求データ]                  バイト 1 - ノード番号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DA240 エンクロージャー                         <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - エンクロージャー</li> </ul> </li> <li>• DW612 および DW612S エンクロージャー                         <ul style="list-style-type: none"> <li>0x01 - ノード 1</li> <li>0x02 - ノード 2</li> <li>0x03 - ノード 3</li> <li>0x04 - ノード 4</li> <li>0x05 - ノード 5</li> <li>0x06 - ノード 6</li> <li>0x07 - ノード 7</li> <li>0x08 - ノード 8</li> <li>0x09 - ノード 9</li> <li>0x0A - ノード 10</li> </ul> </li> </ul>				

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		0x0B - ノード 11 0x0C - ノード 12 0x0D - エンクロージャー  注：冷却値の範囲は 1 ~ 100 です。
GET WEB STATE		NetFn 0x32
		CMD 0xF0
要求データ	応答データ	コメント
該当なし	バイト 1 - 状態	[応答データ]  バイト 1 - 状態 0x00 - 無効 0x01 - 有効
SET WEB STATE		NetFn 0x32
		CMD 0xF1
要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - 状態	バイト 1 - 状態	[要求データ]  バイト 1 - 状態 0x00 - 無効 0x01 - 有効
PSU ISP PSU SELECT		NetFn 0x32
		CMD 0xF4
要求データ	応答データ	コメント
バイト 1 - 機能  バイト 2 - PSU 番号	バイト 1 - PSU 番号  バイト 2 - データ  バイト 3 - データ (オプション)	このコマンドは、ISP のステータスを設定または取得するために使用されます。  [要求データ]  バイト 1 - 機能 0x00 - PSU の選択 0x01 - セカンダリー・ファームウェア・リビジョン 0x02 - ISP のステータス  バイト 2 - PSU 番号 • DA240 エンクロージャー 0x01 - PSU 1 0x02 - PSU 2 • DW612 および DW612S エンクロージャー 0x01 - PSU 1 0x02 - PSU 2 0x03 - PSU 3

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		<p>0x04 - PSU 4                  0x05 - PSU 5                  0x06 - PSU 6                  0x07 - PSU 7                  0x08 - PSU 8                  0x09 - PSU 9</p> <p>[応答データ]  <b>セカンダリー・ファームウェア・リビジョン</b>                  バイト [2:3]- ファームウェア・バージョン  <b>ISP ステータス</b>                  バイト 2 - ステータス                  0x00 - 成功                  0x01 - 失敗                  0x02 - 初期化中                  0x03 - 更新中                  0x04 - PSU がリセット中</p>				
<b>ENCLOSURE VIRTUAL RESEAT</b>		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0xF5</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0xF5
NetFn	CMD					
0x32	0xF5					
要求データ	応答データ	コメント				
該当なし	バイト 1 - ステータス	<p>[応答データ]                  バイト 1 - ステータス                  0x00 - 処理中</p>				
<b>SET SYSTEM ENCLOSURE LRU</b>		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0xF6</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0xF6
NetFn	CMD					
0x32	0xF6					
要求データ	応答データ	コメント				
バイト 1 - 機能 バイト 2 - LRU	バイト 1 - 機能 バイト 2 - 現在の LRU バイト 3 - 前回の LRU (読み取り用オプシオン)	<p>[要求データ]                  バイト 1 - 機能                  0x00 - 書き込み                  0x01 - 読み取り                  バイト 2 - LRU                  エンクロージャー LRU</p>				

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

GET SECURITY OPTION		NetFn	CMD
		0x32	0xFA
要求データ	応答データ	コメント	
バイト 1 - タイプ	バイト 1 - タイプ バイト 2 - 設定 バイト 3 - 設定 (オプション)	<p>[要求データ]</p> <p>バイト 1 - タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - 最小パスワード長</li> <li>0x01 - 初回アクセス時にパスワードの変更をユーザーに強制する</li> <li>0x02 - パスワードの有効期限 (日数)</li> <li>0x03 - パスワードの有効期限の警告期間 (日数)</li> <li>0x04 - パスワード変更の最小間隔 (時間)</li> <li>0x05 - 最短パスワード再利用サイクル</li> <li>0x06 - 最大ログイン失敗数</li> <li>0x07 - ログイン失敗が最大回数に達した後のロックアウト期間 (分)</li> <li>0x08 - Web の非アクティブ・セッションのタイムアウト (分)</li> <li>0x09 - ログインに 10 回失敗した後の 300 秒間の IP アドレス・ブロックの有効化</li> <li>0x0A - ロールバックの保証の有効化</li> <li>0x0B - 強力な IPMI 暗号スイートを有効にする</li> <li>0x0C - パスワードの複雑性の規則</li> </ul> <p>[応答データ]</p> <p>バイト 3 - 構成設定 (オプション)</p> <p>2 バイト・データの MSB</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 強力な IPMI 暗号スイート・タイプが有効 (0x01) の場合、暗号スイート ID 3 および 7 のみをサポートできます。</li> <li>• 強力な IPMI 暗号スイート・タイプが無効 (0x0) の場合、暗号スイート ID 1、2、3、6、7、8、11、12、15、16 および 17 をサポートできます。</li> <li>• パスワードの複雑性の規則: 規則は、規則 1 から、指定した規則数まで順番に有効にする必要があります。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>0x00 - パスワードの複雑性の規則が無効です。</li> <li>0x01 - 1 つ以上の文字を含めます。</li> <li>0x02 - 少なくとも 1 つの数字を含めます。</li> </ul>	

表 5. IPMI コマンドの内容 (続き)

		<p>0x03 - 次のうち 2 つ以上を含めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 大文字 (A ~ Z)</li> <li>- 小文字 (a ~ z)</li> <li>- 英字以外の文字 (!@#\$%^*_+=().:~ ?`\ など)</li> </ul> <p>0x04: 対応するユーザー名の繰り返しや反転は使用できません。</p> <p>0x05: 同じ文字の連続は 2 回までとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 空白文字と英字以外の文字 (~&amp;&lt;&gt;/[]{};, など) は使用できません。</li> </ul>				
SET SECURITY OPTION		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x32</td> <td>0xFB</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x32	0xFB
NetFn	CMD					
0x32	0xFB					
要求データ	応答データ	コメント				
バイト 1 - タイプ バイト 2 - 設定 バイト 3 - 設定 (オプション)	バイト 1 - タイプ バイト 2 - 設定 バイト 3 - 設定 (オプション)	詳しくは、 <a href="#">GET SECURITY OPTION</a> を参照してください。				

## SMTP 構成パラメーター

SET\_SMTP\_CONFIG\_PARAMETERS および GET\_SMTP\_CONFIG\_PARAMETERS の NTP 構成パラメーター。

次の表は、[SET SMTP CONFIG PARAMETERS](#) および [GET SMTP CONFIG PARAMETERS](#) の詳細パラメーターです。

表 6. SMTP 構成パラメーター

パラメーター・セレクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
送信者情報	0	<p>送信者を割り当てます。フィールドには、デフォルトで &lt;host name&gt;@&lt;domain name&gt; が自動的に入力されます。フィールドが OEM 設定の場合、次の規則に従う必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スペース文字のみで構成することはできません。</li> <li>2. 英数字は a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9、スペース文字、およびアルファベット以外の文字の組み合わせでなければなりません。</li> <li>3. フィールドの最大長は 254 文字です。</li> </ol> <p>バイト 1 - 文字列の長さ                      バイト [2:N] - &lt;host name&gt;@&lt;domain name&gt; の文字列</p>

表 6. SMTP 構成パラメーター (続き)

宛先メール・アドレス	1	<p>バイト 1 - 設定セレクトター = フィールド・セレクトター、0 ベース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:2] - 予約済み</li> <li>• [1:0] - フィールド・セレクトター             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 00b - フィールド 1 - 有効/無効</li> <li>- 01b - フィールド 2 - 宛先メール・アドレス</li> <li>- 10b - フィールド 3 - メールの説明</li> <li>- 11b - フィールド 4 - アラートを送信する (設定のみ)</li> </ul> </li> </ul> <p>バイト 2 - ブロック・セレクトター = メール・アラート・セレクトターのターゲット、0 ベース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:2] - 予約済み</li> <li>• [1:0] -             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 00b - メール・アラート 1</li> <li>- 01b - メール・アラート 2</li> <li>- 10b - メール・アラート 3</li> <li>- 11b - メール・アラート 4</li> </ul> </li> </ul> <p>セット・セレクトター = 0 の場合</p> <p>バイト 3 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:1] - 予約済み</li> <li>• [0] -             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - 無効</li> <li>- 1b - 有効</li> </ul> </li> </ul> <p>セット・セレクトター = 1 の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 3 - 文字列の最大長 = 64</li> <li>• データ [4:N] - 宛先メール・アドレスの文字列</li> </ul> <p>セット・セレクトター = 2 の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 3 - 文字列の最大長 = 254</li> <li>• バイト [4:N] - メールの説明の文字列</li> </ul>
SMTP (メール) サーバー設定	2	<p>バイト 1 - 設定セレクトター = フィールド・セレクトター、0 ベース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:1] - 予約済み</li> <li>• [0] - フィールド・セレクトター             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - フィールド 1 - SMTP IP アドレス</li> <li>- 1b - フィールド 2 - SMTP ポート番号</li> </ul> </li> </ul> <p>セット・セレクトター = 0 の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 2 - 文字列の長さ、最大 = 254</li> <li>• バイト [3:N] - IPv4、IPv6、または FQDN の文字列</li> </ul> <p>セット・セレクトター = 1 の場合</p>



表 6. SMTP 構成パラメーター (続き)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト [2:3] - ポート番号。LS-byte が先頭。</li> </ul>
SMTP 認証	3	<p>バイト 1 - 設定セクター = フィールド・セクター、0 ベース。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [7:3] - 予約済み</li> <li>• [2:0] - フィールド・セクター <ul style="list-style-type: none"> <li>- 000b - フィールド 1 - 有効/無効</li> <li>- 001b - フィールド 2 - ユーザー名</li> <li>- 010b - フィールド 3 - パスワード (設定のみ)</li> <li>- 011b - フィールド 4 - STARTTLS モード</li> <li>- 100b - フィールド 5 - SASL モード</li> <li>- 101b-111b - 予約済み</li> </ul> </li> </ul> <p><b>セット・セクター = 0 の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 2 - <ul style="list-style-type: none"> <li>- [7:1] - 予約済み</li> <li>- [0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 0b - 無効</li> <li>- 1b - 有効</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>セット・セクター = 1 の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 2 - 文字列の最大長 = 254</li> <li>• バイト [3:N] - ユーザー名の文字列</li> </ul> <p><b>セット・セクター = 2 の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 2 - 文字列の最大長 = 254</li> <li>• バイト [3:N] - パスワードの文字列</li> </ul> <p><b>セット・セクター = 3 の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 2 - <ul style="list-style-type: none"> <li>- [7:2] - 予約済み</li> <li>- [1:0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 00b - 自動</li> <li>- 01b - オフ</li> <li>- 10b - オン</li> <li>- 11b - 予約済み</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>セット・セクター = 4 の場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• バイト 2 - <ul style="list-style-type: none"> <li>- [7:3] - 予約済み</li> <li>- [2:0] - <ul style="list-style-type: none"> <li>- 000b - 自動</li> <li>- 001b - プレーン</li> <li>- 010b - ログイン</li> <li>- 011b - NTLM</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

表 6. SMTP 構成パラメーター (続き)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 100b - MD5</li> <li>- 101b-111b - 予約済み</li> </ul>
--	--	--

## NTP 構成パラメーター

SET\_NTP\_CONFIG\_PARAMETERS および GET\_NTP\_CONFIG\_PARAMETERS の NTP 構成パラメーター。

次の表は、[SET NTP CONFIG PARAMETERS](#) および [GET NTP CONFIG PARAMETERS](#) の詳細パラメーターです。

表 7. NTP 構成パラメーター

パラメーター・セクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
操作モード	0	データ 1 - モードの設定 0x00 - 無効 0x01 - デーモン・モード 0x02 - 要求モード
NTP サーバー 1	1	データ 1 - 長さ データ [2:N] - ASCII の NTP サーバー IP アドレス
NTP サーバー 2	2	データ 1 - 長さ データ [2:N] - ASCII の NTP サーバー IP アドレス
NTP サーバー 3	3	データ 1 - 長さ データ [2:N] - ASCII の NTP サーバー IP アドレス
要求モードの更新頻度 (分)	4	データ [1:2] - 更新頻度。LS-byte が先頭。
時刻同期モード	5	データ 1 - モードの設定 0x00 - 低速モード 0x01 - ステップ・モード
サーバーまたはクライアントのタイムゾーンを使用	6	データ 1 - モードの設定 0x00 - サーバー・モード 0x01 - クライアント・モード

表 7. NTP 構成パラメーター (続き)

サーバーのタイム・ゾーン	7	<p>データ 1 - タイプの設定</p> <p>0x00 - タイム・ゾーンの文字列</p> <p>0x02 - タイム・ゾーン UTC</p> <p>タイプ = 0 の場合</p> <p>バイト [2:N] - タイム・ゾーン文字列。例: Asia/Taipei</p> <p>バイト [N+1] - 終了文字 (\0)</p>
即時の同期	8	<p>データは不要です。</p> <p>注：NTP タイムアウトの想定されるエラー・メッセージが ipmitool のデフォルト・タイムアウトを超えないようにするために、「-N 10」を使用することをお勧めします。</p>

## IPMI コマンドのパラメーター

このセクションでは、IPMI コマンドのパラメーターに関する情報を示します。

表 8. IPMI コマンドのパラメーターのリスト

NetFn	CMD	名前	パラメーター	パラメーター名
0x0C	0x01	SET LAN CONFIG PARAM	0xC3	ホスト名
			0xC4	ドメイン名
			0xC5	DHCP Option 12
			0xC6	DHCP Option 60
	0x02	GET LAN CONFIG PARAM	0xC3	ホスト名
			0xC4	ドメイン名
			0xC5	DHCP Option 12
			0xC6	DHCP Option 60

## IPMI コマンドの内容のパラメーター

このセクションでは、IPMI コマンドの内容の詳細なパラメーターについて説明します。

表 9. IPMI コマンドの内容のパラメーター

SET LAN CONFIG PARAM	NetFn	CMD
	0x0C	0x01

表 9. IPMI コマンドの内容のパラメーター (続き)

要求データ	応答データ	コメント				
バイト 1 - チャンネル番号  バイト 2 - パラメーター・セレクター  バイト [3:N] - 構成パラメーター	バイト 1 - 完了コード	[要求データ]  バイト 2 - パラメーター・セレクター  バイト [3:N] - 構成パラメーター  詳しくは、80 ページの「IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター」の表を参照してください。  [応答データ]  バイト 1 - 完了コード  0x80 - パラメーターがサポートされていません  0x81 - 「set complete」状態ではないときに「set in progress」値の設定を試みます  0x82 - 読み取り専用パラメーターの作成を試行します  0x83 - 書き込み専用パラメーターの読み取りを試行します				
GET LAN CONFIG PARAM		<table border="1"> <tr> <td>NetFn</td> <td>CMD</td> </tr> <tr> <td>0x0C</td> <td>0x02</td> </tr> </table>	NetFn	CMD	0x0C	0x02
NetFn	CMD					
0x0C	0x02					
要求データ	応答データ	コメント				
バイト 1 - チャンネル番号  バイト 2 - パラメーター・セレクター  バイト 3 - セット・セレクター  バイト 4 - ブロック・セレクター	バイト 1 - 完了コード  バイト 2 - パラメーター・リビジョン  バイト [3:N] - 構成パラメーター	[要求データ]  バイト 2 - パラメーター・セレクター  詳しくは、80 ページの「IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター」の表を参照してください。  バイト 3 - セット・セレクター  0x00 - パラメーターにセット・セレクターが必要ない場合  バイト 4 - ブロック・セレクター  0x00 - パラメーターにブロック・セレクターが必要ない場合				

## IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター

次の表は、LAN 構成における詳細な IPMI パラメーターを示しています。

表 10. IPMI パラメーター - LAN 構成パラメーター

パラメーター・セレクター	#	パラメーター・データ (不揮発性)
アドレスのソース	0x04	IP アドレスのソース バイト 1 - IP アドレスの方式を取得 0x01 - 静的 IP アドレス 0x02 - DHCP のみ 0x04 - 最初に DHCP、次に静的 IP アドレス
ホスト名	0xC3	BMC ホスト名 バイト 1 - 文字列の最大長 = 63 データ [2:N] - BMC ホスト名の文字列
DNS ドメイン名	0xC4	DNS ドメイン名。設定操作は、静的な DNS ドメイン名を使用することを示します。 注：「DNS ドメイン名に DHCP を使用する」の設定が無効になります。 バイト 1 - 文字列の最大長 = 237 バイト [2:N] - DNS ドメイン名のプレーン文字列
DHCP 送信ホスト名オプション	0xC5	バイト 1 - 0x00 - 無効 0x01 - 有効
DHCP 送信ベンダー・クラス情報オプション	0xC6	バイト 1 - 0x00 - 無効 0x01 - 有効



# 索引

## g

GET\_NTP\_CONFIG\_PARAMETERS 78  
GET\_SMTP\_CONFIG\_PARAMETERS 75

## i

IPMI コマンド 49, 79  
IPMI コマンドの内容 50, 79

## l

LAN 構成パラメーター 81

## n

NTP 47  
NTP 構成パラメーター 78

## p

PDB  
    VPD 27  
PDB VPD 27  
PSU  
    VPD 29  
    構成 18  
    ファン  
        速度 24  
PSU 構成 18  
PSU VPD 29  
PSU ファン速度 24

## s

SET\_NTP\_CONFIG\_PARAMETERS 78  
SET\_SMTP\_CONFIG\_PARAMETERS 75  
SMM2  
    リカバリー 47  
SMM2 VPD 28  
SMM2 リカバリー 47  
SMTP 構成パラメーター 75  
SMTP/SNMP/PEF 35  
SMTP、SNMP  
    PEF 35

## w

Web  
    サービス 44  
    証明書 44  
Web 証明書 44  
Web インターフェースのアクセス 3  
Web サービス 44

## あ

アカウント  
    セキュリティー 43  
アカウント・セキュリティー 43

## い

イベント  
    ログ 30  
イベント・ログ 30  
インターフェース  
    アクセス 3

## え

エンクロージャー  
    VPD 26  
    概要 8  
    背面 8  
エンクロージャー VPD 26  
エンクロージャーの背面の概要 8

## お

音響  
    モード 24

## か

概要 5

## こ

更新 31  
構成 30

## さ

サーバー電源 16

## し

時刻  
    設定 41  
時刻設定 41  
システム  
    情報 25  
システム情報 25

## そ

ソリューション

冷却 23

## て

電圧

概要 21

電圧の概要 21

電源 16

消費量 17

復元

ポリシー 22

電源復元ポリシー 22

電力消費量の概要 17

## ね

ネットワーク構成 37

## は

背面

エンクロージャー 8

## ふ

ファームウェア 31

## も

音響モード 24

## ゆ

ユーザー

アカウント 41

ユーザー・アカウント 41

## よ

要約 6

## れ

冷却 23

冷却の

概要 23

冷却の概要 23





**Lenovo**